

Ⅳ 市民会館・公民館の状況

1. 市民会館・公民館施設概要

会館は多様な文化的活動に対応しつつ、教育機関としての機能も果たしていく施設として、昭和52年6月に開館した。

福生市民会館・公民館 福生市福生2455 電話 52-1711

敷地面積 4,937.07㎡

建築延面積 6,771.25㎡

鉄筋コンクリート 地下1階 地上3階建

職 員 12人

また、武蔵野台地区に昭和54年5月、熊川地区に昭和55年5月、社会教育活動の拠点として、地域の文化活動、また学習活動の場としての公民館分館が開館した。

(1) 松林分館 福生市武蔵野台1-15-1 電話 52-3624

敷地面積 1,104.98㎡

建築延面積 564.30㎡

鉄筋コンクリート 地上2階建

職 員 2人

(2) 白梅分館 福生市熊川559-1 電話 53-3454

敷地面積 2,158.03㎡

建築延面積 570.59㎡

鉄筋コンクリート 地上2階建

職 員 2人

2. 市民会館・公民館利用回数

月 別 区 分 施 設 名			4			5			6			7			8			9			10			11			12			4年 ₁			2			3			合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
市 民 会 館	ホ ー ル	大 ホ ー ル	回 21	回 21	回 21	回 14	回 14	回 14	回 33	回 33	回 25	回 25	回 14	回 14	回 33	回 33	回 53	回 53	回 50	回 50	回 28	回 28	回 7	回 7	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	回 0	

松 林 会 館 利 用 状 況

月 部 屋 別		4		5		6		7		8		9		10		11		12		4 年 1		2		3		合 計	
		2 5 日		2 3 日		2 6 日		2 6 日		2 7 日		2 4 日		2 5 日		2 4 日		2 3 日		2 3 日		2 4 日		2 5 日		2 9 5 日	
		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
大 集 会 室	主 催	5	76	4	106	6	165	8	152	16	207	4	91	7	1,572	2	17	5	71	5	40	7	83	2	20	71	2,600
	一 般	30	517	30	661	35	655	37	687	23	395	43	756	42	867	38	702	39	676	32	564	42	855	47	1,170	438	8,505
小 集 会 室	主 催	4	32	13	151	22	253	30	349	14	179	23	338	16	190	13	126	16	177	7	63	11	92	10	92	179	2,042
	一 般	27	491	25	289	15	164	24	317	23	302	19	167	24	294	28	242	20	186	26	229	39	400	41	589	311	3,670
和 室	主 催	1	10	1	10	5	50	4	40	1	10	6	69	3	39	4	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	280
	一 般	39	550	44	520	54	547	57	651	38	369	41	580	30	388	42	518	38	538	36	450	42	428	48	537	509	6,076
学 習 室	主 催	0	0	0	0	0	0	1	16	2	26	1	18	4	48	1	18	5	69	0	0	0	0	1	9	15	204
	一 般	28	308	26	253	35	285	40	315	28	296	32	314	35	333	33	322	30	310	26	248	34	349	29	254	376	3,587
保 育 室	主 催	0	0	3	33	3	33	3	33	0	0	3	33	3	29	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	16	168
	一 般	8	112	9	140	9	130	12	156	11	230	9	130	10	228	17	242	12	548	10	131	12	145	14	225	133	2,417
合 計	主 催	10	118	21	300	36	501	46	590	33	422	37	549	33	1,878	21	220	26	317	12	103	18	175	13	121	281	5,294
	一 般	132	1,978	134	1,863	148	1,781	170	2,126	123	1,592	144	1,947	141	2,110	158	2,026	139	2,258	130	1,622	169	2,177	179	2,775	1,767	24,255
総 計		142	2,096	155	2,163	184	2,282	216	2,716	156	2,014	181	2,496	174	3,988	179	2,246	165	2,575	142	1,725	187	2,352	192	2,896	2,073	29,549
使 用 料	件 数	2 件		8 件		6 件		3 件		8 件		7 件		4 件		3 件		3 件		1 3 件		8 件		8 件		7 3 件	
	金 額	1,5 0 0 円		7,2 0 0 円		6,6 0 0 円		3,8 0 0 円		1 4,9 0 0 円		6,9 0 0 円		3,0 0 0 円		3,6 0 0 円		3,0 0 0 円		1 3,3 0 0 円		1 2,7 0 0 円		1 0,4 0 0 円		8 3,9 0 0 円	

平成 3 年 度 松 林 利 用 状 況

区分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
主 催 事 業	件 数	10	21	36	46	33	37	33	21	26	12	18	13	306
	人 数	118	300	501	590	422	549	1,878	220	317	103	175	121	5,294
住 民 の 社会教育活動	件 数	111	121	136	148	111	120	126	147	125	117	154	159	1,575
	人 数	1,437	1,638	1,597	1,679	1,396	1,595	1,522	1,836	1,884	1,347	1,912	2,301	20,144
公 共 的 団 体	件 数	16	8	5	13	5	14	8	5	11	7	4	7	103
	人 数	444	153	39	261	90	188	430	112	304	206	52	134	2,413
政 治 ・ 宗 教 的 団 体	件 数	0	1	2	0	1	2	0	0	0	0	1	0	7
	人 数	0	20	30	0	10	14	0	0	0	0	10	0	84
企 業	件 数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	5
	人 数	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	100	48	183
そ の 他	件 数	5	4	4	9	6	8	7	6	3	6	8	11	77
	人 数	97	52	80	186	96	150	158	78	70	69	103	292	1,431
合 計	件 数	142	155	184	216	156	181	174	179	165	142	187	192	2,073
	人 数	2,096	2,163	2,282	2,716	2,014	2,496	3,988	2,246	2,575	1,725	2,352	2,896	29,549

白 梅 会 館 利 用 状 況

月 部屋別		4		5		6		7		8		9		10		11		12		4年1		2		3		合 計	
		25日		23日		26日		26日		27日		24日		25日		24日		23日		23日		24日		25日		295日	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
集 会 室	主 催	0	0	4	607	1	25	4	74	5	148	9	270	3	110	5	133	3	100	1	42	2	60	4	170	41	1,739
	一 般	43	664	32	490	42	692	39	611	33	537	41	573	52	743	47	728	40	737	38	678	47	849	52	1,157	506	8,459
会 議 室	主 催	1	20	1	13	4	52	6	78	2	18	8	104	1	15	2	35	3	48	5	120	4	100	9	180	46	783
	一 般	29	472	38	514	35	458	26	361	28	424	26	420	41	668	43	617	37	602	30	439	45	583	39	555	417	6,113
和 室	主 催	0	0	1	13	0	0	0	0	3	43	4	80	6	150	4	70	0	0	0	0	0	0	0	0	18	356
	一 般	49	893	42	611	46	756	49	754	27	467	34	608	39	682	42	726	40	832	28	486	43	706	53	909	492	8,430
学 習 室	主 催	2	25	1	15	4	52	6	72	0	0	4	52	1	6	5	44	2	12	0	0	0	0	2	30	27	308
	一 般	34	464	28	348	38	510	35	497	31	368	37	458	41	477	42	571	38	515	35	470	50	656	40	478	449	5,812
作 業 室	主 催	0	0	0	0	0	0	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12
	一 般	16	100	21	250	30	206	32	310	27	292	33	445	48	703	22	404	22	492	8	160	8	80	14	232	281	3,674
合 計	主 催	3	45	7	648	9	129	20	236	10	209	25	506	11	281	16	282	8	160	6	162	6	160	15	380	136	3,198
	一 般	171	2,593	161	2,213	191	2,622	181	2,533	146	2,088	171	2,504	221	3,273	196	3,046	177	3,178	139	2,233	193	2,874	198	3,331	2,145	32,488
総 計		174	2,638	168	2,861	200	2,751	201	2,769	156	2,297	196	3,010	232	3,554	212	3,328	185	3,338	145	2,395	199	3,034	213	3,711	2,281	35,686
使 用 料	件 数	1 件		0 件		1 件		0 件		1 件		1 件		4 件		2 件		1 件		3 件		0 件		0 件		1 4 件	
	金 額	1,200円		0円		600円		0円		1,800円		900円		3,300円		1,000円		2,000円		1,800円		0円		0円		12,600円	

平成 3 年 度 白 梅 利 用 状 況

区分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
主 催 事 業	件 数	3	7	9	20	10	25	11	16	8	6	6	15	136
	人 数	45	648	129	236	209	506	281	282	160	162	160	380	3,198
住 民 の 社会教育活動	件 数	167	160	191	179	145	169	208	191	167	137	191	198	2,103
	人 数	2,552	2,183	2,622	2,503	2,038	2,404	3,073	2,951	3,028	2,210	2,834	3,331	31,729
公 共 的 団 体	件 数	0	1	0	0	1	0	13	0	9	0	0	0	24
	人 数	0	30	0	0	50	0	200	0	90	0	0	0	370
政 治 ・ 宗 教 的 団 体	件 数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	人 数	20	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	30
企 業	件 数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	人 数	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
そ の 他	件 数	3	0	0	1	0	2	0	5	1	1	2	0	15
	人 数	21	0	0	20	0	100	0	95	60	13	40	0	349
合 計	件 数	174	168	200	201	156	196	232	212	185	145	199	213	2,281
	人 数	2,638	2,861	2,751	2,769	2,297	3,010	3,554	3,328	3,338	2,395	3,034	3,711	35,686

3. 公民館運営審議会

公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する機関である。この制度は社会教育法上必置性となっており、本市の場合任期2年、定数10名で構成される。

本年度の審議内容は次のとおりである。

第1回 平成3年4月11日(木) 公民館本館

- 委嘱状の交付
- 平成3年度公民館予算について
- 平成3年度上半期主催事業について

第2回 平成3年5月9日(木) 公民館本館

- 平成3年度公民館事業について
- その他

第3回 平成3年6月13日(木) 公民館本館

- 関東甲信越静公民館研究集会について
- その他

第4回 平成3年7月11日(木) 公民館本館

- 都公連委員部会報告について
- その他

第5回 平成3年8月8日(木) 公民館本館

- 平成3年度視察研修について
- その他

第6回 平成3年9月12日(木) 公民館本館

- 関東甲信越静公民館大会報告
- 視察研修について
- その他

第7回 平成3年10月3日(木) 公民館本館

- 視察研修について
- その他

第8回 平成3年11月14日(木) 公民館本館

- 平成3年度下半期主催事業について

○その他

第9回 平成3年12月12日(木) 公民館本館

○保育室事業について

○委員会報告

○その他

第10回 平成4年1月9日(木) 公民館本館

○国立市公民館視察研修について

○その他

国立市公民館視察研修

平成4年2月6日(木) 午後1時15分～4時半

○施設見学および公民館保育室・青年室を中心とする運営状況の説明

第11回 平成4年2月13日(木) 公民館本館

○国立市公民館視察研修報告

○その他

第12回 平成4年3月12日(木) 公民館本館

○第32回関東甲信越静公民館研究集会報告書について

○その他

4. 奨励、援助

(1) 人的援助

各団体、個人の相談に応じ、職員が必要な助言、指導、援助を行った。

分館を除き、公民館では、夜間における社会教育の活動が昼間より非常に多いことから、これら社会教育活動をする市民(団体)の相談にのり、必要な援助をするため、職員が1名残る体制をとっている。(午後5時から10時まで)

(2) 教材、教具等の利用

(3) 事務援助

印刷事務援助等

(4) 会場借上

大ホール1回(福生市音楽愛好者連絡会)

小ホール4回(市民劇団バックス、福生市民コーラス、福生スキー連盟、子ども達と自然を守る会)

社会教育備品貸出し状況

内訳	月	3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	4年	1月	2	3	計
利用団体		3	8	8	5	2	4	2	8	6	3	7	8	6	4	
16ミリ映写機		1	3	1	3	1	1	3	7	5	4	2	3	3	4	
8ミリ映写機								1								1
8ミリカメラ							1									1
スライド映写機				1			1					2				4
OHP				1					1			1				3
スクリーン		1	4	6	3	1	1		5	4		5	3	3	3	
暗幕			1					1					3			5
ビデオセット		2	2	3			2	1								10
スポットライト								1		2			1			4

立川社会教育会館フィルム配送サービス取扱い

内訳	月	3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	4年	1月	2	3	計
利用団体			3	3	4	2	3	3	4	3	2	2	2	3	3	2
本数			6	6	8	6	5	8	8	7	2	2	10	6	8	

5. 公民館主催事業

(1) 幼児

保育室事業

幼児の成長、発達をはかり、子どもをあずけることを通して母親が学習していく場として実施した。

期 間 (前期) 平成3年5月22日(水)～10月末日 午前10時～正午

16回×1コース、17回×2コース

(後期) 平成3年11月14日(木)～平成4年3月26日(木)

午前10時～正午

15回×1コース、17回×1コース

会 場 公民館本館、松林分館、白梅分館

内 容 幼児が集団の中で主体的に関われるようにはたらきかける。

参加者

	講 座	幼 児 数					回 数	参 加 者 数
		1 才	2 才	3 才	4 才	計		
前 期	子どもの成長・発達とおもちゃ	6	8	1	0	15	17	225
	家庭教育学級「手作り絵本」	2	2	3	0	7	16	112
	人 形 劇 を 創 る	5	3	5	0	13	17	221
後 期	講 座 「女 性 学」	1	5	0	0	6	17	102
	地 球 に や さ し い エコロジー学のススメ	5	3	2	0	10	15	150
	計	19	21	11	0	51	82	810

総 括 年々参加する子どもの年齢が低年齢化している。0才児保育も潜在的市民要求としてあるかもしれないが、施設として0才児を受け入れられない状況がある。

公民館お楽しみ映画会・お楽しみ劇場

主に就学前の幼児と母親を対象に、映画、人形劇の鑑賞の機会を設けるために実施した。

月 日	内 容	回 数	人 数
4. 6	リボンの騎士	2回	45人
6. 8	ちびっこカムのぼうけん	2	23
8. 8	ディズニードキュメンタリー特集 ビーバーの谷 深海のなぞ	2	15
10. 23	ディズニーアニメ短編特集.ノ ミッキーマウスのお化け退治 他	2	70
12. 7	新美南吉お話しの世界.ノ ごんぎつね 手ぶくろを買いに 他	2	40
2. 8 9	風の谷のナウシカ	2	50

(2) 少 年

子どもアウトドア教室

野外生活に必要な知識・技術を学びながら、子どもたちが主体的にキャンプにかかわることを目的に実施した。

期 間 平成3年8月1日（木）～9月5日（木） 午後2時～4時 全5回

会 場 公民館本館及び野外

参加者 31人×5回＝155人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
8. 1	なかまを知ろう。／	オリエンテーション、自己紹介	担当職員
8. 8	キャンプ班会議	役割分担等を決定	小倉 佳奈氏 斉藤 貢司氏 山本真貴子氏 五内川明子氏
8. 15	〃	スタンス等を決定、最終チェック	
8. 29	アウトドアキャンプ	奥多摩アメリカキャンプ村にて	
8. 30		1泊2日のキャンプを実施	
9. 5	キャンプ反省会	キャンプの反省	

総 括 中・高校生のリーダーの参加が固定してきた。しかし、キャンプの準備や当日の運営にリーダーとして、どのようにかかわっていくのか、リーダーで話し合う場が少なかったようだ。そのような場を設定し、中・高校生の育成を考えていく必要性を感じた。

夏休み工作教室「大きなお面をつくろう」

木の枝と和紙を使ったお面作りをととして、子ども達の創造性を養い、手作りのたいせつさ、工作のおもしろさを実感できるよう実施した。

期 間 平成3年8月22日（木）・29日（木） 午前10時～正午

会 場 公民館本館

参加者 28人×2回＝56人

内 容 枝うちから造形、絵づけまで

講 師 木住野 利明氏（造形作家）

総 括 枝をとるところから自分たちでおこない、それを紐を使ってお面の形にしていける。

子ども達は紐結びがとてへたくそで、すぐに形が歪んでしまう。普段の生活の中で紐を結ぶことがないのだろう。このように、手先の巧みさはますます萎えてきている

ことを痛感する。

出来上がったお面に子ども達は満足そうであった。後日、聞いた話では、玄関に飾り、絶対に人に譲らないなど、自分の大切な宝物になっているようだ。

冬の工作教室「竹でつくる」

竹を素材にした伝承遊びの工作をとおして、手先の巧みさ、道具の使い方、また、異年齢の仲間作りの場とした。

「竹とんぼ・竹うまを作ろう」

日 時 平成3年12月19日・20日（金） 午後2時～4時

会 場 公民館本館

参加者 16人×2回＝32人

「オリジナル凧を作ろう」

日 時 平成3年12月26日・27日（金） 午前10時～午後4時

会 場 公民館本館

参加者 15人×4回＝60人

総 括 小学1年生から申し込みを受け付けたが、小刀の使い方など、少し1年生には難しかったようだ。個人差はあるが、ものごとに集中して、根気強くとりくむ子どもとすぐ飽きてしまう子どもの両極端に分かれてしまう。一番上が小学4年生であったが、下の子どもの手伝いができるほど余裕はなかったようだ。全体として、遊びをつくる…という生活が子ども達の中に位置付いていないことを改めて実感した。

こども教室

子どもの世界から時間と広場と仲間が失われつつあると言われて久しい。現実には、子供の自由な時間は急速に減少しているし、仲間集団も、同学年、同クラス、しかも学校やその行き帰りの時に、あるいは電話で、事前に遊ぶ約束をしないと、なかなか遊べないという現実がある。しかも、その約束にもれた子ども達が一緒に遊ぼうと声を掛けても、「今日は〇〇ちゃんと遊ぶからあそべない」という答えが戻ってくるというのが現実である。それは、とりも直さず、子どもの人間関係の結び方が非常に痩せ細ってきたことであるし、本来、子どもの中で伝えられ発展していった子ども自身の文化が痩せ細ってきているという現実を示すものであった。そして、なによりも子どもの世界の中で培われてきた体験に基づく認識が、育ちづらくなっている実情である。こうした地域の子ど

も達の状況を踏まえた上で、①遊びを通して異年齢の子ども集団の形成 ②子ども中の民主性の回復 ③子どもの手の巧みさの回復 ④子どもと自然の触れ合いを大事にしながら、子どもの自然に対する感性を豊かにし、地域を科学的に見る目を養う。⑤仲間に働きかけながら、何かを一緒に作りあげる力を育て、子どもの自治能力を培っていく。⑥子ども達の遊びや文化に興味を持つ地域の青年と結んでいく。ということを目標に、'91こども教室を開催し、仲間づくりのエポック、野外活動のエポック、創作のエポックの3つの区切りで実施した。

日 時 平成3年5月24日～12月14日 全25回

会 場 松林分館・多摩川・秋川市草花丘陵・五日市青少年キャンプ村・他

参加者 30人×25回 750人

プログラム

	月 日	内 容	講 師
仲間 づ くり エ ポ ッ ク	5. 24	オリエンテーション、楽しく遊ぼう、ゲーム	担当職員・ 青年指導者 村 井 基 樹氏 佐 藤 克 年氏
	30	たのしく遊ぼう、室内ゲーム	
	6. 1	室内ゲーム	
	8	野外ゲーム	
	15	野外ゲーム	
	22	作って遊ぶ 割り箸鉄砲、竹笛づくり	
野 外 活 動 の エ ポ ッ ク	7. 6	作って遊ぶ バタバタづくり	担当職員 村 井 基 樹氏 佐 藤 克 年氏
	7. 13	公園で遊ぶ	
	20	多摩川で遊ぶ	
	27	多摩川で遊ぶ	
	8. 3	探検しよう、草花丘陵・多摩川	
	9	松林ワークキャンプ 松林分館前庭	
	10	松林ワークキャンプ 松林分館前庭	
	14	キャンプ実習父母説明会	
	15	本キャンプ 五日市青少年キャンプ村	
	16	〃 〃	
	17	〃 〃	

	月 日	内 容	講 師
創 作 活 動 の エ ポ ッ ク	9. 7	多摩川原を探検する	担当職員・ 青年指導者
	1 4	紙ヒコウキを作る	
	2 1	自動車を作る 設計を考える	村 井 基 樹氏 佐 藤 克 年氏
	2 8	自動車を作る 設計を考える	
	1 1. 2	自動車を作る 設計を考える	担当職員
	9	自動車を作る 設計を考える	
	1 6	自転車解体する	
	3 0	自転車解体する	
	1 2. 7	自転車解体する	
	1 4	自動車の土台を作る	
	2 1	自動車の土台を作る	

夏休みおもしろ科学・歴史教室

夏休みの機会に子ども達が普段体験出来ない体験学習を通して、子供達に科学や地域への歴史への関心を育てる機会とした。科学は仮説実験授業を中心に展開をした。

日 時 平成 3 年 8 月 1 2 日から 2 1 日間 全 4 回

会 場 松林分館

参加者 4 回× 5 人

プログラム

月 日	テ ー マ	講 師
8. 1 2	気体の重さを計る・重い気体・軽い気体	田代正夫氏 中 学 教 諭
1 4	電気の性質 静電気	斉藤明朗氏 養護学校教諭
1 9	玉川上水について	田村光男氏 中 学 教 諭
2 1	福生の歴史	立川愛雄氏 市史編纂委員

劇団ファンタスティック

子ども達が自分達の手で何かを作りあげていく、そうした一つの文化活動の場として、1987年、こども教室終了後、演劇をやりたい子ども達が集まって結成、子ども達の自主的な活動を中心にし、ながら、年一回の公演を目標に活動が続けている。

期 間 平成3年4月13日～平成4年3月21日 毎土曜日 午後2時から5時

会 場 松林分館

参加者 11人×41回＝410人

作 品 筒井啓介作「いじわる王女さま」の練習

4月13. 20. 27日	新しい作品検討	指 導
5月11. 18. 25日	〃	担 当 職 員
6月 1. 8. 15. 22. 29日	作品決定、配役検討	〃
7月 6. 13. 20日	台本読み	〃
8月 24日	〃	〃
9月 7. 14. 21. 28日	〃	〃
10月 5. 12. 19. 26日	台本読み、立ち稽古	〃
11月 2. 9. 16. 30日	〃 〃	〃
12月 7. 14. 21日	立ち稽古	〃
1月11. 18. 25日	〃	〃
2月 1. 8. 15. 22. 29日	〃	〃
3月 7. 14. 21. 28日	〃	〃

夏休み子ども将棋教室

子ども達(小学生)に将棋のたのしさを教えると共に、友達づくりを目的にして行った。

期 間 平成3年7月24日(水)～8月29日(木) 午前10時～正午 全11回

会 場 松林分館等

参加者 8人×11回＝88人

講 師 栗 原 玄氏 (日本将棋連盟福生支部)

月 日	内 容
7. 2 4	将棋のルールと知識
2 5	〃
3 1	将棋の指し方
8. 1	〃
7	駒落ちの指しかた
8	〃
1 4	やさしい戦法
1 5	〃
2 2	遠 足 （葛西臨海公園及び将棋会館）
2 8	詰め将棋と必至
2 9	〃

総 括 前回同様、1時間講義、1時間実戦を行った。

今回は、子供達の仲を深めるため遠足を行ったが、ふざけ合ったり、助け合ったり、将棋会館ではテレビでしか見たことのないプロを身近に見て、子供たちは充実した1日を過ごせたと思う。

たんけん教室

「仲間との遊びを通して地域での思い出を作る」。これが今年のたんけん教室のテーマで、20回におよぶプログラムを作成した。今年は天候不順で中止になった回数が多く、結果的には12回しか実施出来ず、職員・参加者共に不満が残った。

しかし、一年間を通して地域の中で遊んだことが仲間関係を深く豊かにし、滝山丘陵や多摩川の自然が一層身近に感じる事ができた。

期 間 平成3年5月11日～平成4年2月2日 全12回

会 場 白梅分館・多摩川・滝山丘陵・草花丘陵

参加者 延べ参加者数 187名

講 師 岡田紀夫氏ほか、実技指導員数名を依頼した。ほとんどの回を実技指導員で対応した。

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
5. 11	白梅分館	オリエンテーション	自己紹介と教室の内容説明など	岡田紀夫氏他
6. 30	滝山丘陵	滝山オリエンテーリング	地図とコンパスの使い方を学ぶ	〃
7. 14	白梅分館	夏休み打合せ	夏休みプログラムの説明など	〃
8. 1 8. 2	滝山丘陵	野宿に挑戦	滝山丘陵の中で、野宿を体験する。 夜間には、昆虫の観察も行う。	〃
8. 4	大丹波川	沢のぼりに挑戦	自然の川の中を、洋服を着たまま上る	〃
9. 15	滝山丘陵	滝山ネイチャーゲーム	滝山の林を使った遊びを考える	〃
9. 22	草花丘陵	何でも食べよう	草花丘陵で秋の味覚の栗を食べてみる	〃
11. 10	狭山丘陵	狭山丘陵の自然	狭山丘陵と滝山丘陵の比較をする	〃
11. 23	横 沢	横沢の自然観察	五日市町の横沢の自然や環境を観察	〃
12. 7	白梅分館	子ども忘年会	今年の活動をVTRなどで振り返る	〃
12. 15	滝山丘陵	滝山ネイチャーゲーム	初冬の滝山丘陵でネイチャーゲーム	〃
2. 2	〃	〃	雪の残る滝山丘陵で雪と遊ぶ	〃

総 括 今年度は天候不順のために、予定した約半分の内容しか実施できなかった。しかし、滝山丘陵を利用したネイチャーゲームは、かなり多くのことができた。毎年、ネイチャーゲームを数多く取り入れてみるにより、福生的な環境教育のテキストが完成出来ると思っている。

参加する子ども達に関して言えば、年々、自然環境に働き掛けることを避けたがる傾向にあり、自然の草木から関心が薄れ、益々地域の自然環境とかけはなれた生活をするようになる。その意味でも、地域の自然・環境と自分の生活の成り立ちの両面から考えられるような環境教育の必要性は、今後高まることが十分予想される。

夏休み自然教室

福生の川原でも最近まで日常的に見ることができた「カワラバッタ」が減少しているらしいとのことで、バッタの生活や生息状況を調べてみた。

期 間 平成3年7月29日～8月28日 全5回

会 場 白梅分館・多摩川

参加者 延べ参加者数 20人

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
7. 29	白 梅 分 館	オリエンテーション	教室の説明など	担 当 職 員
8. 9	かに坂公園	昆 虫 の 観 察	土手の昆虫を中心に観察	栗原 仁氏
8. 16	中 央 公 園	〃	トノサマバッタの捕獲実験などを行う	〃
8. 26	南 公 園	〃	川原の中で主にカワラバッタを探す	〃
8. 28	白 梅 分 館	ま と め	今までの観察結果をまとめる	担 当 職 員

総 括 8月に入ると、昆虫は成虫になっていた。クルマバッタは少なくなっていたが、確認された。しかし、カワラバッタはついに確認することができなかった。

トノサマバッタのオスを黒い木片でつろうとしたが、関心を示したくらいに留まった。

クルマバッタモドキのオスは関心を示した後で飛び乗った。

カワラバッタについては、数年調査を続ける必要があると思った。

ちょっと早いクリスマス

白梅分館を利用している共同保育のサークルに呼びかけ、それぞれが持っている力を出し合って、日常的な付き合いのある子ども達だけではなく、公民館に関わりのない若い母子に参加の機会を提供し、みんなで楽しい時間を過ごす目的で開いた。

期 間 平成3年12月14日 全1回

会 場 白梅分館 2階集会室

参加者 70人

内 容 パネルシアター、リトミック、手あそび、人形劇の上演など

総 括 共同保育サークル間の交流はほとんどなく、他のサークルがどのようなことをやっているのかもほとんど知らない状況では、一年に一度でも各サークルの情報交換も含めて交流の機会を用意する必要がある。今後も続けていくつもりである。

(3) 青 年

夏のボランティア活動体験学習

青少年がボランティア活動にかかわるきっかけの場を提供するため、福生市社会福祉協議会と共催で実施した。

期 間 平成3年7月19日（金）～8月24日（土）

会 場 公民館およびボランティア受入れ施設

参加者 32名

月 日	内 容	場 所
7. 1 9	説 明 会	公 民 館
受入れ施設		
	サンシャインビラ 8月22日（木）～23日（金）1泊2日	10名
	青年学級にじのはらっぱ 8月18日（日） 日帰り・1日	3名
	れ ん げ 園 8月21日（火）～22日（木） 日帰り・2日	1名
	若 葉 保 育 園 8月12日（月）～17日（土） 日帰り・6日	10名
	おもちゃ図書館 8月10日（土）・24日（土） 日帰り・2日	8名

総 括 東京都社会福祉協議会西多摩ブロックとも社協レベルで提携をしたので、広範囲からの参加があった。しかしその反面、そのボランティアを地域で根付かせていくには課題が残ろう。

タップダンス教室

タップダンスを通して青年が親睦を深めあえる機会として実施した。

期 間 平成3年5月13日（月）～7月1日（月）

会 場 公民館本館

参加者 17人×8回＝136人

講 師 佐々木隆子氏、他インストラクター

月 日	内 容	講 師
5. 13	基本ステップ	佐々木 隆子氏 他、 インストラクター
5. 20	基本ステップ	
5. 27	曲合わせ	
6. 3	〃	
6. 10	仕 上 げ	
6. 17	練 習 会	
6. 24	〃	
7. 1	〃	

総 括 第一人者の講師をむかえ、マドンナの曲に合わせてタップダンスを学んだ。5回の本講座終了時に7月7日（日）の公民館のつどい交流会への出演が決まり、そのための練習会を3回設けた。その後約半数が残り「タップチップス」として自主サークル化した。

(4) 障 害 者

障害者青年学級「にじのはらっぱ」

障害を持った青年が、集団活動を通して仲間づくりや基礎的生活習慣を身につける場として実施した。

期 間 平成3年5月12日（日）～平成4年3月22日（日）

会 場 公民館本館および野外

参加者 20人×22回＝440人

回	月 日	内 容	会 場
1	5. 12	開 級 式	多摩川中央公園
2	5. 26	ハイキング	巾 着 田
3	6. 9	八王子子ども科学館見学	八 王 子
4	6. 23	班 活 動 （工作・調理・手芸・運動）	公 民 館
5	7. 14	〃	〃
6	7. 21	河 川 清 掃	多 摩 河 原
7	8. 4～5	夏 期 合 宿	西 湖

回	月 日	内 容	会 場
8	8. 18	プ ー ル	一 中 プ ー ル
9	9. 8	ス ポ ー ツ 交 流	羽 村
10	9. 29	班 活 動	公 民 館
11	10. 13	〃	〃
12	10. 20	ボーリング大会	中神ヤングボウル
13	11. 4	市民ロードレース・いも煮会	多摩川中央公園
14	11. 10	ハイキング	大岳山・御岳山
15	12. 8	社会科見学「ディズニーランド」	ディズニーランド
16	12. 22	忘 年 会	福 祉 会 館
17	4. 1. 5	新 年 会 （ 茶 会 ）	公 民 館
18	1. 19	弁論大会	市民会館小ホール
19	2. 9	班 活 動（運動班は羽村市温水プール）	公 民 館
20	2. 23	昭和記念公園でスケート・サイクリング・散策	昭 和 記 念 公 園
21	3. 8～9	冬 期 合 宿	草 津
22	3. 22	閉 級 式	公 民 館

総 括 今年度、全都規模でポスターによるボランティア募集を行ったところ8名の新たなボランティア が加わり、活動に新たな広がりが増した。学級生による運営会議もより自主性を増し、ハイキングの下見等にも加わってきている。数年来の学級生の念願であったディズニーランドが今年度実現した。

聴覚障害者のための映画会

邦画に親しむ機会の少ない聴覚障害者のために字幕付き邦画を上映した。

期 間 平成3年5月24日（金）～平成4年3月14日（金）

会 場 公民館本館

参加者 87人

月 日	作 品 名	入 場 者 数
5. 2 4	銀 河 鉄 道 の 夜	2 0 人
7. 2 6	ラブストーリーを君に	1 5 人
1 1. 2 2	華 の 乱	2 0 人
4. 1. 2 4	用 心 棒	1 7 人
3. 1 4	釣りバカ日誌 2	1 5 人

総 括 入場者は少ないようであるが、毎回を楽しみにしてもらっているようである。

邦画を楽しむ機会の少ない聴覚障害者には、この映画会は貴重な場になっているようである。

(5) 女 性

保育室運営会議

保育室に子どもをあずけることを通して見えてくる問題を大人の学習にしていける場として実施した。

期 間 平成 3 年 6 月 2 9 日（土）～平成 4 年 3 月 1 4 日（土） 全 9 回

会 場 公民館

参加者 延べ 7 3 人

月 日	内 容
6. 2 9	豊かな人間関係とは何かを保育室に参加したきっかけ、動機をもとに話し合う。
7. 2 0	保育日誌をもとに人と人との関わりについて話し合う。
8. 3 1	人が育ちあう「豊かな人間関係」とは何かを保育日誌をもとに話し合う。
9. 2 8	人が育ちあう「豊かな人間関係」とは何か
1 1. 3 0	子どもをあずけようとしたきっかけ、動機を話す中から、女性が置かれている状況や子どもの状況を話し合う。
1 2. 1 9	前回の課題を話し合う。
1. 2 5	前回の課題を話し合う。
2. 2 2	前回の課題を話し合う。
3. 1 4	子育て真っ最中、夫と妻がどう向き合っているのか、話し合う。

総 括 後期、１１月からは運営会議での保育を主催事業の参加者だけでなく、自主グループにも広げたところ、以後継続して参加する自主グループが出てきた。来年度は市民、保育者、職員が共に運営に取り組めるようにしていきたい。

本館保育室連絡会

保育室利用サークルどうし、また公民館との連絡調整、情報交換の場として実施した。

期 間 平成３年４月１３日（土）～平成４年３月１６日（月） 全７回

会 場 公民館

参加者 延べ３１人

月 日	内 容
4. 1 3	おもちゃ、備品の整理、清掃、平成３年度の保育室事業について 他市の保育室視察について
5. 2 3	他市の保育室視察報告、平成３年度の保育室事業について ベビーベッドの取扱いについて、他の部屋の利用について 保育室運営会議について
7. 1 0	保育室以外の部屋の利用について
9. 5	保育室トイレ、手洗い場設置の経過報告 保育室後期主催事業について
11. 1 3	平成４年度の保育室備品について、保育室改築工事期間について 保育室後期主催事業について、保育室運営会議について
12. 1 4	保育室清掃、整理
3. 1 6	保育室備品について

総 括 保育室トイレ、手洗い場設置にあたり、他市の公民館保育室視察を行った。他市の協力を得て４月に４市６施設を視察した。時間などの関係もあり、サークルからの参加者はなかったが、保育者と職員とで視察し、それをもとに５月に要望書としてまとめた。４年度の事業として予定されている。

松林保育室利用者交流会

松林分館の保育室利用者の交流と保育の問題を考えあう場として開催した。

日 時 7月18日・12月8日 午前10時～12時

会 場 松林分館

月 日	テ ー マ	人 数
7. 18	保育室の整理・サークルの抱えている課題を話しあう	3サークル15名
12. 8	保育室整理・ダンボール椅子の製作、修理	3サークル10名

土曜学習会

保育室担当の保育者有志と女性問題について基本的学習する機会とした。女性問題を捉える基本的視点を学ぶため、基本文献の学習をおこなった。

期 間 平成3年10月～12月 3回 毎月第3土曜日午後7時30分～10時

会 場 松林分館

参加者 5人×3＝15人

内 容

月 日	テ ー マ	チ ュ タ ー
11. 9	岩波講座現代・女の一生「夫婦・家庭」 レポート	担当職員加藤
11. 30	岩波講座現代・女の一生「夫婦・家庭」	〃
12. 14	主婦論争を読むⅠ（上田千鶴子著）	〃

白梅分館保育室利用交流会

白梅分館には「保育室」という専用の部屋はなく、2階の和室を保育室事業の場として利用しているが、自主サークルの利用希望が多くなり、主催事業の希望などとも重なることになってきたために、各サークル間の連絡調整の場として開いた。

日 時 平成3年4月10日 全1回

会 場 白梅分館

参加者 10人

総括 高齢者の語らいのひろばが定期的に和室を利用しているが、共同保育しているサークルと同じように、場所や曜日を変えることがむずかしいという意見が出ている。熟慮してみれば、市内に3館ある公民館の中で保育室が用意されていないのは白梅分館だけであり、自主サークルの和室利用率が高いこともあるので、保育の部屋として利用することがよいのかどうか、公民館事業の全体的な視点から検討しておく必要がある。

講座 女性学

自分のありようやさまざまな現象を女性問題の視点で見通せるようになることをねらいとして実施した。保育室併設の講座である。

期 間 平成3年11月7日(木)～平成4年3月26日(木) 午前10時～正午
全17回

会 場 公民館

参加者 11人×16回+6人×1回=182人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 7	保育打合せ	保育室について	保 育 者
14	女性学とフェミニズム	女性学とは何か	内藤 和美 (昭和女子大 助教授)
21	女性差別とセクシズム	セクシズムが生活の中でどのようにあらわれているか。ビデオ「恥ずかしい日本人」「裏切られた夢」	
28	大人も子どもも共に育ちあうために①	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	田中 加代 (保育者)
12. 5	女性差別とセクシズム	セクシズム、性別役割分担の問題性 ビデオ「沈黙の恨」	内藤 和美
12	大人も子どもも共に育ちあうために②	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	田中 加代
1. 9	セクシズムと女性差別	セクシズム社会における「女性役割」	内藤 和美
23	「女性役割」	主婦とは何か	
30	セクシズムの諸相	人工妊娠中絶をめぐる問題から ビデオ「中絶一北と南の女たち」	

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
2. 6	大人も子どもも共に育ちあうために②	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	中村けい子 (保育者)
13	これまでのまとめ	これまでの学習について自由に懇談	
20	母性を問う	母性とは何か	内藤 和美
27	中高年離婚	中高年離婚はなぜ増えているか	
3. 5	女性とアルコール依存	キッチンドリinkerをめぐる女の状況を考える。	内藤 和美
12	「強姦罪」の問題	ビデオ「告発の行方」を見て話し合う。	
19	家庭科の男女共修	家庭科の男女共修、不登校の問題	内藤 和美
26	これからの私たち	ビデオ「スウェーデンの結婚と家族」をみて話し合う。	

総 括 フェミニズムとかセクシズムという耳慣れない言葉にはじめは戸惑いが見られたが、主婦をめぐる問題や母性についての問題では、身近な問題であったためか、関心をもって臨んでいたようだ。性別役割分業の問題性など、旧来の固定観念に疑問を投げかけることはできたと思う。参加者が自分自身の問題として話し合っているとよりいっそう学習が深まるのだが、重いテーマでもあったので、そこまでは到達できなかった。女性差別の問題は継続して学習していくことが大事であると改めて感じた。

女性問題講座準備会

講座のプログラムを市民と共に作り上げることを目的に行った。

期 間 平成3年5月15日(水)～5月23日(木) 午後7時30分～9時30分
全2回

会 場 公民館

参加者 5人×3回＝15人

月 日	内 容
5. 15	福生市の状況、「女性行動計画」とは何か、どんな内容にしたらいいか。
23	〃
6. 17	〃

総 括 女性問題講座として「女性行動計画」をテーマに参加者を募った。地味なテーマであるが関心を持つ市民がいる。講師折衝、依頼は職員が行った。

女性問題講座「女性行動計画ってなあに？」

福生市ではまだ「女性問題解決のための行動計画」が策定されておらず、市民グループからも策定の要望書が市へ提出されている。改めて「行動計画」とは何かを学習し、女性問題を広く市民に伝えていく場として実施した。

期 間 平成3年7月13日（土）～8月31日（土） 全5回

午後2時～4時、7時30分～9時30分

会 場 公民館

参加者 15人×5回＝75人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
7. 13	「女性行動計画」とは何か	日々の暮らしの中でどんなことを女性問題として感じているか。女性問題の視点、女性問題の現状をみる視点。	村田 晶子 （実践女子大講師）
17	〃	前回の講義をうけて話し合う。	
8. 10	中野区の取り組みに学ぶ	計画策定までの動き、今後の見通し、福生へのアドバイス	西山恵美子 （中野の婦人行動計画推進を促す会）
21	国分寺市の取り組みに学ぶ	〃	出井ミチ子 （国分寺女性問題懇談会）
31	福生市の「女性行動計画」	これからどうしていったらよいのか。	

総 括 準備会をもうけて実施したので、司会は準備会のメンバーが交替で行い、ポスターやチラシ作り資料もメンバーが作成した。また、講師との打合せにも参加した。働いている人も昼間しか出られない人も皆で考えていきたいということで、時間帯を午後2時か

らと7時半からの2通りで交互に組んだ。そのことのデメリットはなかった。夏休み中であつたが、参加率は良かった。ただ、2回目と3回目の間があきすぎていたので間延びした感じがあつたが、夏休みの真っ最中でいたしかたない事情があつた。終了後、福生市の行動計画策定に向けてもっと学習していきたいという希望が出され、女性問題連絡会が中心となつて学習活動が始まつた。

子どもの成長・発達とおもちゃ 〔月曜保育室併設〕

性別役割分業意識の中で、大工仕事等は男のもの、子育て・家事は女の役割という固定観念がある。そして、子どもが大きくなるまでは自分のやりたいことも我慢することが良い母親……という意識の中で、見えない形で、母子密着の状況が作られ、親も子も社会に目を向け、人間らしく育つことが難しくなっている。

その様な中で、おもちゃ作りを通して、性別役割分業の克服や地域の人間関係を作り合い、その中からお互いに子育ての知恵を学び合うことを目指した。

期 間 平成3年6月3日(月)～平成4年3月30日(月) 毎週月曜日

午前10時～正午 全36回

会 場 公民館本館

参加者 15人×36回＝540人

内 容 預けることを通して、子育てや自分の生活をふりかえり、自分や社会を見つめなおす。動物組み木をつくる。パズルをつくる。木馬をつくる。

講 師 公民館保育者

総 括 参加者それぞれが自分のつくつたおもちゃで子どもが遊ぶ姿を見て、改めておもちゃについて考えるきっかけになつたようだ。また、自分ではとてもできないと諦めていた大工仕事も、なれるにしたがつて挑戦する意欲がわき、男の仕事、女の仕事というものを見つめなおしはじめたようだ。

予定では10月中旬で終わる予定であつたが、木馬の進行が思うようにはかどらず、途中から参加者同士で保育をしあいながら進めている。

人形劇を創る

人形劇を創るということは、人形の頭・衣服・背景・小道具などの他、シナリオも作って上演するまでのことを含んでいる。この作業に、乳幼児を抱える母親に参加してもらい、お互いの子育ての情報交換を通して、閉塞状況の女性の日常を考える機会として実施した。なお、この教室は約半数の外国人女性にも参加してもらったが、日本人であろうと外国人であろうと、女性の抱えている問題は変わらないし、特に外国人女性にとっては、日本の生活習慣・言葉・文字など、日常生活に重要な情報交換の場になると考えたからである。

期 間 平成3年5月31日～9月27日 全17回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 210人

講 師 原嶋卓三氏、補助講師として榎本隆氏

日 時	会 場	テ ー マ	内 容
5. 31	白梅分館	オリエンテーション	各自の自己紹介と教室の説明など
6. 7	"	自 己 紹 介	各自の生い立ちや福生にすむことになった理由など
6. 14	"	"	" "
6. 21	"	人形の製作1	人形劇についての話を聞き、シナリオの製作にはいる
6. 28	"	人形の製作2	人形の頭の製作に入る
7. 5	"	保育室学習会	運営会議のテーマにそって、子育てを語り合う
7. 11	"	人形の製作3	衣服や手などの製作などの小道具の製作
7. 12	"	人形の製作4	"
7. 18	"	人形の製作5	背景などの製作に順次はっていく
7. 19	"	人形の製作6	この日までで、人形に関するすべての製作を終える
7. 26	"	保育室学習会	運営会議のテーマにそって、子育てを語り合う
8. 30	"	人形劇練習1	台本を読み合う
9. 5	"	人形劇練習2	台本に沿って人形を動かし、背景などの調整をおこなう
9. 6	"	保育室学習会	運営会議のテーマにそって、子育てを語り合う
9. 13	"	人形劇練習3	本格的な練習を進める
9. 20	"	人形劇練習4	"
9. 27	"	人形劇上演	友人知人を呼んで、人形劇の上演をおこなう

総 括 外国人の女性が13人中6人いたので、正直なところ上演までには手間がかかった。しかし、セリフを一生懸命暗記し上演しようとする姿勢は、どこの国の人でも同じである、と強く感じた。

日本人は、外国人との付き合い方が上手ではないようにいわれているが、実際には言葉の問題ではなく機会の不足からくるだけと感じた。今後も体験を元にした交流をおこなうことで、国際的な交流が深まるのではないかと思う。

家庭教育学級「手作り絵本」

子育てをテーマに、手作りの絵本創作を通して、改めて子育てや自分の生活を見直し、子どもの文化について考える機会とした。

期 間 平成3年5月22日～10月2日 毎水曜日午前10時～12時

会 場 松林分館

参加者 16(1)人×16回＝256人 ()は男子

回	月 日	テ ー マ	講 師
1	5. 22	オリエンテーション 自己紹介・保育室について	担 当 職 員
2	29	子育てについて語ろう、子育てをめぐる状況	木住野利明氏 絵 本 作 家
3	6. 5	私の絵本論・絵本とは、絵本の出来るまで	
4	12	どんな絵本をつくろう、ストーリーを考える	
5	19	絵本の枠組みを作る・絵本の作成上の留意点	中村けいこ氏
6	26	子育てと自立・子どもが集団の中で育つ意味	
7	7. 3	絵本の技法・豆本を作る	
8	10	絵本製作	木住野利明氏 絵 本 作 家
9	17	〃	
10	24	子育てと自立 運営会議の報告・保育について	高崎 文江氏
11	8. 21	絵本製作 彩色	木住野利明氏 絵 本 作 家
12	28	〃 〃	
13	9. 4	〃	
14	11	製本の技法・製本	
15	18	〃 〃	田 中 加代氏
16	25	子育てと自立Ⅲ	
17	10. 2	絵本合評会	木住野利明氏

総括 絵本作成以外に三回のレポート（私の子育て・保育だよりを読んで・保育だよりを読んで）を課題にした。絵本制作に追われた上にレポートの課題で厳しい講座となったが、全員絵本を完成することができた。終了後有志でサークル「つみ木箱」として、活動を続ける。

主婦再就職への設計図

主婦がよい再就職口を得られるように、日商簿記３級の資格取得をめざした。

期 日 平成３年７月１３日（土）～１１月９日（土） 全３０回

土曜日は午後２時～４時 日曜日は午前１０時～正午

（１１月６日は午後７時～９時）

会 場 松林分館

参加者 １８人×３０回＝５４０人

講 師 伊藤 一夫氏（元職業訓練校講師）

月 日	内 容
7. 13	オリエンテーション、簿記の基礎、会計の考え方
14	勘定科目と仕訳（その１）
20	〃（その２）
21	決 算（その１）
27	〃（その２）
28	〃（その３）
8. 10	帳簿について
11	三分法と分記法（その１）
17	〃（その２）
18	〃（その３）
24	手 形（その１）
31	〃（その２）
9. 1	その他の債権債務
7	税 金 他
14	資 本 金

月 日	内 容
9. 1 5	減 価 償 却
2 1	貸 倒 償 却 (その 1)
2 2	" (その 2)
2 8	" (その 3)
2 9	試 算 表
1 0. 1 2	精 算 表 (その 1)
1 3	" (その 2)
1 9	三 伝 票
2 6	費 用 ・ 収 益 の 繰 延
2 7	費 用 ・ 収 益 の 見 越
3 0	答 案 練 習 (その 1)
1 1. 2	" (その 2)
3	" (その 3)
6	" (その 4)
9	" (その 5)

総 括 今回の講座は参加者18名中、3級の試験に合格したのは9名だった。昨年に比べると合格率は低かったが、簿記の経験がない人が多かったこと、年齢がやや高かったことを考えれば、成功だったと思う。

女性のための初心者囲碁講座

人生80年を夫婦ともに歩むにあたり、共通の趣味の一つとするため囲碁の講座を実施した。
また女性どうし、よい碁敵が見つかることを目指して実施した。

期 間 平成3年10月23日(水)～平成3年12月25日(水)

午前10時～12時 全10回

会 場 松林分館

参加者 15人×10回＝150人

講 師 藤井 廣氏 (日本棋院普及指導員)

月	日	内	容
10.	23	講義「碁とはなにか」	実戦
	30	講義「碁のルール」	実戦
11.	6	講義「石の連絡と切断」	実戦
	13	講義「石の取り方」	実戦
	20	講義「石の生死」	実戦
	27	講義「テクニック」	実戦
12.	4	講義「盤上の名称」	実戦
	11	講義「石の能率」	実戦
	18	講義「石と石との戦い」	実戦
	25	講義「終わりの打ち方」	実戦

総括 前半の1時間が講義で、後半の1時間は実戦をした。実戦は、最初のうちは生死がわからないので、地を広く取った方が勝ちという形で行った。講座終了後は囲碁サークルに入る人が多く、現在、松林分館の女性囲碁サークルは盛んである。

(6) 成人・一般

市民文化教室

- 主 催 福生市公民館 福生市文化連盟
- 目 的 多くの市民に趣味や実技、教養に関する初歩的学習機会を提供することにより、市民の文化活動への参加を促し、その活動の拡大に役立てる。
 - ・公民館は、連盟の力を伸ばすとともに、市民の学習の場を拡大していく。
 - ・文化連盟は、連盟のもつ力を市民に提供することによって、市民文化形成のリーダーの役割を果たすと同時に、組織の拡大（参加者や学習面）に役立てる。

コ ー ス	開 講 期 間	内 容	指 導 者	参 加 者
人 形	7月17日～9月18日 (全10回水曜午前)	木目込人形の基礎から	酒井 虹氏	100人
尺 八	7月18日～9月19日 (全10回木曜夜間)	尺八の基礎から小作の 吹奏まで	城戸 皓山氏	100人
編 物 手 芸	7月25日～10月17日 (全10回木曜午前)	簡単な手芸とセーター (編み棒)	堂田きよ子氏	230人
三 味 線	8月2日～10月11日 (全10回金曜夜間)	三味線の基礎	玉津 信男氏	200人
民 謡	8月3日～10月5日 (全10回土曜夜間)	初心者のための基礎から 仕上げ数曲	澤田 春駒氏	100人
剣 舞	8月23日～11月1日 (全10回金曜夜間)	初心者講習 基礎と演舞	小川由利子氏	90人
詩 吟	8月24日～10月19日 (全10回土曜午後)	初心者のための詩歌朗詠 “俳句 和歌 遊詩歌謡等”	井上 誠氏	130人
民 踊	8月24日～10月26日 (全10回土曜夜間)	“かつぼれ・奥多摩音頭”	松本 泰子氏	200人
社交ダンス	8月26日～10月27日 (全10回土曜夜間)	初心者のためのブルース ルンバ タンゴほか	小宮 吉春氏	340人
書 道	9月5日～11月14日 (全10回木曜午前)	書道入門 楷書 行書 草書 仮名	私市 好美氏	300人
茶 道	9月6日～11月15日 (全10回金曜夜間)	初心者茶道(久田流)	杉浦 陽子氏	200人

ベートーヴェン第九音楽講座

平成3年度の「福生第九演奏会」は平成4年“春”に市民自主開催し、満席の聴衆の中開催することができた。これに先立ち、改めて音楽家ベートーヴェンそして第九交響曲について以下の

とおりに学習する機会を持った。

期 間 平成3年10月27日(日)～11月13日(水) 全4回

会 場 公民館集会室 市民会館小ホール

参加者 50人×4回=200人

回	日 時	会 場	内 容	備 考
1	10月27日(日) 午後1時30分～4時	公 民 館	《第九》が語りかけるもの	音楽評論家 小村 公次氏
2	10月30日(水) 午後7時～9時30分	市民会館 小ホール	ベートーヴェンその人柄その生涯 “月光”内的世界ほか	講師ピアノ奏者 吉田 宗子氏
3	11月10日(日) 午後1時30分～4時	公 民 館	第九の歌詞とドイツ語発音 シラー: An die Freude	女流合唱指揮者 近藤 直子氏
4	11月13日(水) 午後7時～9時30分	公 民 館	合唱による国際交流 日本の歌・世界の歌	藤田正記氏 (成蹊大学) ソプラノ 秋本秀美 ピ ア ノ 栗島和子

やじきたハイキング

ハイキングを通して市民の健康づくりや仲間づくりをはかることを目的とし実施した。

月	日	行 先	参 加 者
3.	4. 8	五日市町小峰公園	47人
	6. 10	埼玉県民の森	40人
	9. 9	景 信 山・小 仏 峠	44人
	12. 2	寄居五百羅漢・十二支守り本尊めぐり	63人
4.	1. 29	都庁・新宿御苑	45人
	3. 2	小室山から青梅梅郷	55人

総計 294人

コース選定 吉野 チェ氏・吉原 寿子氏・藤野 二郎氏・美野 善光氏

総 括 コース選定にあたっては、地域文化や地誌にも興味を深めることができるように配慮

した。参加者は50～60歳代から上の市民がほとんどであった。毎回申込み時には長蛇の列ができるほどの盛況ぶりである。

16ミリ映写機操作講習会

16ミリ映写機の操作技術の修得と視聴覚教材の知識を身につける機会として実施した。

期 間 平成3年6月19日（水）～21日（金） 午後7時～10時

会 場 公民館本館

参加者 17人×3回＝51人

月 日	内 容	講 師
6. 19	視聴覚教育および操作方法の説明	担 当 職 員
20	操 作 練 習	
21	操作練習および個別操作	

総 括 今年は参加者が若干多めであった。修了者が修了証をただ取得しただけでなく、それを活用する機会を確保するため、映写を求める側との効果的な橋渡しの方法が求められる。

仏教史講座

日本人の思想的原流である仏教の日本での展開を学び、日本人の精神的発達史を仏教の側面から学ぶ機会とした。

期 間 平成3年7月3日（水）～24日（水） 午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 32人×4回＝128人

月 日	内 容	講 師
7. 3	東アジア仏教史	小 島 岱山氏 (中央大学講師)
10	大和・飛鳥白鳳時代	
17	奈良時代	
24	平安・鎌倉時代	

総括 学習内容の高度な講座であったが、毎回欠席者がほとんどなく、参加者と講師の熱心に支えられた講座であった。この分野での根強い学習要求を感じた。

市民大学講座・法律コース「遺言を書く」

実際に遺言を講座の中で書くことによって遺言の知識を深め、民法の遺産分割についての精神を考える。

期 間 平成3年10月16日(水)～30日(水) 午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 18人×3回=54人

月 日	内 容	講 師
10. 16	遺言の効果	山田 森一氏 (弁護士)
23	遺言の書き方	
30	〃	

総括 今までの市民大学講座でも民法の相続編を学んだことはあったが、実際に遺言を書き進めながらの講座は、より学習の度合いが深まったようであった。

カウンセリング入門講座

心の悩みを持ち続ける人が増えている殺伐とした社会の中でカウンセリングの入門について学ぶ機会として実施した。

期 間 平成4年2月26日(水)～3月16日(月) 午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 25人×4回=100人

月 日	内 容	講 師
2. 26	聞き方の基本	中村 泰章氏 (日本更生保護協会 カウンセリング委員)
3. 4	自分をひらき、相手を知るために	
11	カウンセリングの実技	
16	〃	

総 括 人の相談事を聞き取るというよりも、聞き上手になるためには自分自身がどう変わなければならない等を中心に学んだ。実技を多く取り入れ、カウンセラーとカウンセリングを受ける両方の立場からカウンセリングの実際を学ぶことができた。

オフセット印刷機操作講習会

公民館ではサークルやPTA、町会などへの援助の一つとして、オフセット印刷機の貸し出しをおこなっているが、利用者の中で、印刷機の操作に精通している人はほとんどいない。

そこで、ミニコミやチラシなどの印刷を独自におこなえるようにするため、講習会を実施した。

日 時 平成3年6月28日（金） 午前10時～正午

会 場 公民館

参加者 5人

内 容 オフセット印刷機の簡単説明と実技操作、トラブルの処置法

講 師 佐藤 勝貫氏（専門家）

総 括 参加者はそれ程多くはないが、その分個人個人の練習に時間がとれ、各自がオフセット印刷機の操作を学んだ。参加者の中には町会などでミニコミを作っている人もおり、学習にも熱が入った。今後、この講習で得たものを地域の活動の中で発揮していただきたい。

木工工作教室

手作りのあたたかさ、木のぬくもりを大事にした日常生活グッズの製作、今年度は椅子に挑戦した。また、木工作の基礎的な技術の習得を目指した。

期 間 平成4年2月8日（土）～3月29日（日） 午後2時～5時

会 場 公民館本館

参加者 7人×10回＝70人

講 師 秋池 俊彦氏（専門家）

月 日	内 容
2. 8	オリエンテーション、自己紹介、道具の説明と仕立て
15	長さ決め、墨付け
22	〃

月 日	内 容
2. 29	長さ決め、墨付け
3. 7	加 工
14	"
20	"
22	" 組み立て
28	" "
29	" "

総 括 今年椅子に挑戦した。椅子は木工の技術的な習得にはもってこいだが、たいへん難しく、参加者の皆さんの苦勞には頭が下がる思いだった。また、技術的なものとよい道具がそろってこそいい物ができる。日本の伝統的な匠の技を少しでもかじれたような気がする。

初心者ワープロ教室

ワープロの基本操作と文章作成を学ぶため実施した。

内 容 東芝ルポ80Fの基本操作と簡単な文章等の作成

講 師 築地 尚美氏 (OAインストラクター)

期 間	時 間	参 加 者
平成3年10月 3日(木)～ 7日(月)	午前10時～正午	10人×4回＝40人
12月 4日(水)～ 7日(土)	"	5人×4回＝20人
平成4年 1月22日(水)～25日(土)	"	5人×4回＝20人

総 括 4日間の講習では時間的には少しきついかもかもしれないが、初心者を対象に1から10までというわけにもいかず、どこまで講習を終えるかということは個々人の要求のレベルとも関係し、難しいところだ。講習後のフォローについても研究しなければならない時期だろう。

音響機材操作講習会・照明機材操作講習会

公民館では市民の社会教育活動の広がり・深まりをめざすために音響・照明器材を備えてきました。その器材の講習を通して、活動のリーダー養成や情報交換、交流の場となるよう設定した。

音響機材操作講習会

日 時 平成3年9月5日(木) 午後7時30分～9時30分
会 場 公民館
内 容 PA卓、マイク、スピーカーなどの使い方、ケーブルの配線、他
講 師 上島 茂氏 (専門家)
参加者 5人

照明機材操作講習会

日 時 平成4年3月4日(水) 午前10時～正午
会 場 公民館
内 容 調光機の扱い方、電源の取り方、スポットライトなどの扱い方、他
講 師 佐藤 勝貫氏 (専門家)
参加者 7人

総 括 参加者はみんな熱心に講習を受けていた。参加者の人数も少なめであったので、全員が操作の実習をすることができたが、初歩の操作講習のため、イベント作りのためにどう機材を使いこなすのか……というレベルまで応えられなかった。

音響の講習は10代・20代の青年男子でしめられており、公民館での青年教育の一つのきっかけとなるのではとの思いがよぎった。

ワープロ練習会

ある程度打ち込める方を対象に、お互いの学び合い、教え合いの中でのワープロの練習と仲間作りのために実施した。

期 間 平成4年1月17日～3月27日 毎週金曜日 午後7時30分～9時30分
会 場 公民館
内 容 ワープロの練習
参加者 15人×10回＝150人
総 括 担当職員が練習メニューを用意し、実施したが、ノウハウの蓄積がなく、また、

いろいろなメーカーの機種がある中で思うように練習成果がでなかった。だが、ワ

ープロの可能性を自分の中に位置付けられたのではないかと思います。今後の方向性を見つめていきたい。

牛乳パックで年賀状を

手作り、リサイクルを視点にいた、オリジナル年賀状づくり。

期 間 平成3年11月29日・30日(土) 午後7時30分～9時30分 全2回

会 場 公民館本館

参加者 2人×2回=4人

総 括 牛乳パックを使った手すきはがきを作成したのだが、リサイクルという側面よりも労力や化石燃料のむだのようなジレンマに陥らざるをえなかった。手作りということではそれなりの評価ができるとしても、環境問題としての視点からは失敗であった。

フラワーデザイン教室

フラワーデザインの基礎を学び、日常生活の場で役立てる機会として実施した。

期 間 平成3年5月29日(水)～7月24日(水) 午後7時～9時 全5回

会 場 公民館

参加者 28人×5回=140人

月 日	テ マ	講 師
5. 29	かごのアレンジメント	遠 藤 久 美 子 (フラワーデザイン 講師)
6. 12	ハート型アレンジ	
19	コサージュ	
7. 3	フラワーケーキ	
10	花器アレンジメント	

総 括 主催事業として初めてのものであったが、予想を上回る申し込みで、急遽定員を8人増やしたがそれでもおことわりした人がいた。夜間の時間帯にもかかわらず、欠席する人はほとんどなく、アンケート結果でも来年度も実施してほしいという要望が多数であった。普段日常的に公民館を利用していない市民の方が多かったので、公民館を知る機会にもなったと思う。終了後は自主サークルとして活動したいという希望が

出されたが、講師の都合がつかず、今回は見送りとなった。

地球にやさしいエコロジー学のスヌメ（保育室併設）

生活に身近なゴミと水の問題について学習することにより、自分の生活を見つめなおし、地域で環境を考えることを目的に実施した。

期 間 平成3年11月22日（金）～3月6日（金） 午前10時～12時 全14回

会 場 公民館本館

参加者 21人×14回＝294人

月 日	テ ー マ ・ 内 容	講 師
11. 22	オリエンテーション	
29	環境問題とは	藤田 祐幸氏（慶応大講師）
12. 6	子どもも大人も共に育ち合う関係とは1.	公民館保育者
13	水を考える1.	林 英明氏（フリーライター）
20	水を考える2.	宮岡 和紀氏（都立高教諭）
1. 10	子どもも大人も共に育ち合う関係とは2.	公民館保育者
17	ゴミを考える1.	山本耕平氏（ダイナックス都市環境研究所）
24	ゴミを考える2.	藤原寿和氏（廃棄物を考える市民の会）
31	子どもも大人も共に育ち合う関係とは3.	公民館保育者
2. 7	誰にでもできる環境調査	大和田 一紘氏 （中央大学社会科学研究所）
14	私たちで行動してみよう	
21	環境問題とリサイクル	
28	子どもも大人も共に育ち合う関係とは4.	公民館保育者
3. 6	今、私たちにできることは	大和田一紘氏（中央大学社会科学研究所）

総 括 ゴミと水の問題について、前半講義、後半班活動という形で学習した。班活動は各班でそれぞれテーマを設定し、調査研究を重ね、最終日に発表した。保育室併設ということもあり、地域でのアンケート、調査等、子どもをかかえて活動した人が多かったが、各班とも主体的に熱心に学習がすすめられた。

なお、各班のテーマは次のとおりである。①アンケート（100人）調査をもとに、ゴミ処理、リサイクルを考える。②水道水の塩素調査をもとに、おいしい水とは。

③大気汚染NO₂ 測定をしてみて ④家庭から出るゴミの量を調査してみて、どうすればゴミを減らせるか。 講座終了後、「福生ココロジーの会」として活動継続。

自然観察会

現在の身近な自然環境を市民自らが観察し記録を残すことで、自然の移り変わりを私達の生活との関連で考える機会として実施しているが、社会教育事業の入門的な位置づけも加味し、だれでも参加しやすいように配慮している。

期 間 平成3年5月26日～平成4年3月8日 全8回

会 場 多摩川

参加者 延べ参加者数 244人

月 日	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
5. 26	中央公園	公園の植物	中央公園内の植物を見て歩く	宮岡 一雄氏
6. 9	かに坂公園	水生昆虫観察	多摩川の水質と昆虫の関係を考える	田中 和明氏
10. 20	中央公園	秋の植物観察	秋の植物を、公園と川原で観察する	宮岡 一雄氏
12. 1	南公園下流	冬鳥の観察	カモ類の観察を中心に行う	岡田 紀夫氏 栗原 仁氏
2. 16	同 上	同 上	同 上	同 上
23	柳山公園	草原の野鳥	多摩川の草原に住む野鳥を観察する	同 上
3. 1	水喰土公園	冬芽の観察	植物の冬越しの状態を観察する	宮岡 一雄氏
3. 8	狭山湖	水面の鳥	広い水面の上で生活する野鳥の観察	栗原 仁氏

総 括 自然観察会を楽しみに参加してくれる方も増えてきて、毎回の観察会が楽しくなってきた。また、観察会に参加していた若い数人が、自主的に観察会を企画し運営し始めた。毎月一回であるが、今後はその芽がふくらむように応援したり、相互補完的な役割を果たしていきたい。

あなたの福生はどんなまち？

私達が毎日暮らしている福生の実情を、自然・人間・行政の各方面から詳しく知り、一人ひとりの市民がまちづくりに参加する道をさぐる機会として実施した。

期 間 平成3年10月30日～12月18日 全8回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 48人

月 日	会 場	内 容	講 師
10. 30	白梅分館	この講座の内容説明・イギリスの環境教育VTRの上映など	
11. 6	"	雑木林の今日的いみと役割について	宮岡 一雄氏
13	"	西多摩地域の具体的な開発と、その目指しているもの	大和田一紘氏
20	"	これからのまちづくりにおける市民の役割とは	野沢 久人氏
27	"	今迄の話を参加者同士で語り合う	
12. 4	"	「環境教育」の今日的意味とは何か	職 員
11	"	丘陵地の雑木林の保護利用の具体案を専門家に聞く	養父志乃夫氏
18	"	毎日暮らしている福生を大切に感じる心を育てるには	宮岡 一雄氏

総 括 市内の雑木林は残りわずかになってしまったが、今後は身近な自然としての雑木林は、益々貴重になっていくと思われる。また、同じように畑も緑地空間として貴重であるが、宅地なみの課税がされるようになっては、ほとんどがアパートなどになってしまうと思う。市内を全体的な視点で見る必要が大きい、これも市民の声が本来的な意味で行政に届くようにしなければならないし、市民の力を正当に評価する場も重要だと感じた。

第10回 利用者発表会実行委員会

日頃白梅分館を利用して活動しているサークルの発表の場として、そして、準備の段階から各サークル間を越えて交流することから、交流の深まりが地域住民としての情報交換や地域作りのきっかけの場として、実行委員会を組織して準備を進めた。

期 間 平成3年4月5日～5月22日

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 50人

月 日	内 容	備 考
4. 4	第2回実行委員会 各広場の進行状況の確認、その他	参加者20人
24	第3回実行委員会 パンフレットやポスターを各町会へ配付準備	参加者15人
5. 22	発表会を振り返って	参加者15人

識字学級

何らかの理由で義務教育が受けられなかった人々や義務教育は終了したが、日本語の読み書きの力を充分身に付けることが出来なかった人々、あるいは海外子女で日本語の読み書きが充分出来ない人々を対象に、改めて、文字の読み書きを学ぶ機会とした。

期 間 平成3年5月13日～平成4年3月25日 午後1時30分～4時30分

会 場 松林分館

参加者 10人 (1 子ども4人)

プログラム

月 日	内 容	講 師
5月13日	オリエンテーション 自己紹介	高崎伊平氏
20日	日本語・平仮名、おおきなかぶ 読み	(元小学校校長)
27日	おおきなかぶ、読み、内容、聞きとり	
6月 2日	かたつむり	
9月 9日	自己紹介・大きなかぶ	
18. 30日	大きなかぶ・かたつむり、日本語平仮名	
10月5. 12日	日本語・ひらがな・ひらがなの書き順・教材・おおきなかぶ	
19. 22. 26. 28日	おおきなかぶ、読み、意味、かたつむり・読み・内容理解	
11月6. 11. 13日	さんびきのめだか(すみいすえ作) 読み、読解	
20. 22. 28日	内容理解、筋道をたてて内容を話す。	
12月2. 4. 9日	がちょうのたんじょう日 読み、読解、漢字の書き順	
12. 16. 19日	がちょうのたんじょう日 読解 内容を筋道をたててはなす。	
1月13. 20. 22日	西郷竹彦作 さるかにばなし 読み、読解	
27. 29日	さるかにばなし 読解 あらすじを話す	
2月3. 5. 10日	スーホーの白い馬 読解、漢字の書き順 おおきなかぶ、かたつむり	
17. 19. 24日	スーホーの白い馬 読み、漢字 三びきのめだか 読み 濁音・半濁音	
26日	三びきのめだか(すみい すえ作) スーホーの白い馬 読み、漢字	
3月 2. 4. 日	三びきのめだか 読解 わたしはそれでもいきてきた(うえだまさよ)	
4. 11. 16. 22. 25日	わたしはそれでもいきてきた(うえだまさよ) 読解、作文を書く	

今年の識字参加者の構成は、日本人1名男子、フィリッピン1名女性、ペルー7人(大人3人

〔女性〕、子ども4人)、ブラジル人1人(女性)という構成であった。ペルー、及びブラジルはそれぞれ、日系2世、及び3世、4世で、1世が移民としてそれぞれ昭和初期、戦後25～6年に南米に渡っている。しかも、働きにきて来日数日と言う人から来日期間1年未満という人が圧倒的に多く、その参加も、ばらばらの参加であった。その為、繰り返しの授業になった。授業の進路を早めることが出来なかったのと、生活の重みでよく欠席がちであるため、例年になく、むずかしいクラス編成となった。特に、子どもの指導については、本来学校教育の中で保障すべき課題であると実感した。とくに母国語と日本語学習がどちらも中途半端なために、潜在的な機能識字予備軍にならざるをえないことと、その為にもつアイデンティティの危機は予想以上に大きなものがあるのではないかと、その対応を本格的に考える時期に来ているのだろう。又働く成人の参加者があったが労働との関係で、非常に不安定な出席であった。そのために、識字能力を継続的に発展させるということがむずかしい課題であった。

P T A 講座ーいきいき P T Aー

近年、P T A 無用論がまた論議されているが、一方では今日の教育の矛盾を解決する一つの大事な課題としてP T A に関心がよせられていることも事実である。1947年「父母と教師の会ー教育民主化の手引ー」を文部省が全国に通達して、そして同年に出したP T A の参考規約にはP T A の目的を次のように具体的にあげている。①学校、家庭及び社会における児童青年の福祉を増進する。②家庭生活および社会生活の水準を高め、民主社会における市民の権利と義務に関する理解を促す為に、父母に対して、成人教育を盛んにする。③あたらしい民主的教育に対する理解を深め促進する。④家庭と学校との関係を一層緊密にして児童青年の教育について、父母と教員とが聡明に協力する。⑤父母と教員と一般社会の協力を促進して、児童青年の心身の健全な発達をはかる。⑥学校の教育的環境の整備をはかる。⑦児童青年の補導、保護並びに福祉に関する法律の実施につとめ、適切な法律をつくる努力をすること⑧適当な法律の手続きにより、公立学校に対する公費による適切な支持を確保する⑨その地域の社会教育の進行を助ける。とその目的が書かれている。しかし、40数年経て今日、P T A のあり方そのものが大きく揺らいでいることも事実である。こうした事実を踏まえた上、今日P T A の抱える課題を整理しながら、実際に役立つP T A の運営に関する基本的な知識を学ぶ機会とした。

期 間 平成3年5月17日～6月28日 午後2時～4時

会 場 松林分館

参加者 18人×7回=126人

プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
5. 17	P T A ってなあに	P T A の歴史を通してその役割を学ぶ	前 橋 弘 子
24	P T A の運営Ⅰ	民主的な運営を目指して活動のイロハ	溝 淵 幸 太 郎
31	P T A の運営Ⅱ	P T A の専門部活動を豊かにするには	
6. 7	P T A 広報とは	P T A 広報の役割、広報委員会の仕事	前 橋 弘 子
14	P T A 広報の編集	広報編集の仕事と手順、広報ができるまで	調 布 市 P T A 研 究 会
21	広報紙をつくる	広報づくり実践	
28	〃	〃	

総 括 論議の中で今日のPTAの抱える課題が明確になり、また、PTAの原則を改めて学習する機会になった。また活動を豊かにするための原則やその視点が明確に認識された。また広報紙の編集はグループで実際にその編集、制作をおこなった。具体的な実務の研修ができた。昨年の参加者から、具体的な取り組みの報告があった。

4月に三回の準備会をもった。

教育講座 ―「中学生・中学校」―改めて義務教育とはなにかを考える―

教育講座準備会の中で、今回の講座に向けて、① 今日の学校教育の現実を踏まえて、その背景にある課題を明確にする。②今日の教育の中で、非行、登校拒否、いじめ、自殺など、子どもの問題が社会問題として取り上げられているが、これらの問題はいずれも中学生が中心になっている。改めて、今日の中学校の抱えている課題を明らかにしながら、子どもにとって中学校とはなにかを考える。また、中学生は思春期を迎える中で、精神的にも、肉体的にも動揺の多い中で、受験体制の現実を迎える。そうした現実の中で、中学生がどんな力をつけていくのかを学力問題を含めて考える。③中学時代は「第2の誕生」といわれ、自立に向けて、精神的にも動揺の多い時期である。この中学時代の発達の危機を親としてどう受けとめていくか、という3つの課題を中心に学ぶ機会とした。

期 間 平成4年1月31日～3月14日 午後2時～4時 全7回

会 場 松林分館

参加者 12人×7回=84人

プログラム

月 日	テ ー マ	担 当 職 員
1. 31	オリエンテーション	
2. 7	主人公は僕らだ(映画) フィルムフォーラム	
14	いま、学校教育をめぐって	平湯 紘一氏 母と子主幹
21	中学校とは	林 友三郎 (岩波新書「中学生」著者)
28	中学校でどんな力をつけていくのか	
3. 6	中学時代の危機をのりこえる	能重 真作氏(新日本新書)
13	今日の高校をめぐって	古賀 禧子 (三高連)

総 括 教育講座に先立って平成3年11月から12月にかけて教育講座準備会を5回開催し、内容の検討をおこなった。講座に入っては、記録の他に、毎回、受講者に講座の感想を一口メモとして書いてもらい、その感想と講師紹介や講座に対する希望等をふくめて「講座だより」を出した。受講者の一口メモから「とても感動的な話を聞けて、また思春期の息子とじっくりとりくんでいこうというエネルギーがわいてきた。能重先生の所に相談にきた先生ではないが私も親をやめたいと思ったことが何回もあった。でも本当に子どもの気持ちをつかもうとしていたか。今考えると………ともにやれることを一つでも二つでもやっていきたい。」と講座に参加しての感想を書いている。

市民大学「歴史講座」－近代日本の歩みと国民・大正デモクラシー－

第一次世界大戦、その後の日本における経済発展、米騒動、労働者や農民運動や水平社運動の高まり、第1、2次護憲運動、あるいは「青鞥」をはじめとしての婦人の活動、吉野作造の民主主義など、大正時代の政治、文化、市民生活を通して、大正デモクラシーの歴史を、史料を通して学びながら、日本における民主主義の発展の歴史を考える機会として実施した。

期 間 平成3年5月15日～7月24日 午後2時～4時

会 場 松林分館

参加者 11人×11回=121人

プログラム

月 日	テ ー マ	講 師
5. 1 5	オリエンテーション・自己紹介・講座に期待するもの	川村善二郎氏 東 経 大 講 師 歴 史 学 者
2 2	日本の近代国家の成りたち 大日本帝国憲法体制と国民	
2 9	「時代閉塞の現状」の克服をめざして「明治から大正」	
6. 5	「帝国主義」時代の世界と日本	
1 2	「天佑神助」の第1次世界大戦	
1 9	「戦争景気」と「成金」時代の明暗 独占資本主義と民衆	
2 6	労働組合運動と普通選挙運動の高まり 民主主義運動の展開	
7. 3	母性保護運動と婦人参政権を求めて	
1 0	人の世に熱あれ人間に光あれー全国水平社の創立	
1 7	日本統治下の植民地「朝鮮」3.1運動と関東大震災事件	
2 4	普通選挙法と治安維持法制定「大正」から「昭和」へ	

総 括 平成3年4月から5月にかけて「市民大学講座歴史講座準備会」を開催し、本年度のテーマを大正デモクラシーとした。その視点を①民衆の立場から大正デモクラシーの意味を捉え返す。②国際的な関係で捉える。③日本の資本主義の発展の過程を明らかにする。④大正デモクラシーの総体を通して、大正デモクラシーの持つ光りと影を明らかにし、そのなかでの民衆の役割を考えるという視点で講師をお願いすることにした。

参加者が自宅で学習を深められるよう毎回豊かなレジメと資料の提供が講師からあった。

今年の市民大学歴史コースでの課題として、大正時代の婦人運動としては著名な「母性保護論争」を取り上げ、参加者のレポートの課題とした。70代の人から20代の人まで参加者は幅広かったが、それぞれの視点で課題レポートを提出している。

松林史跡見学会

地域にはその土地土地の歴史を刻んだ文化財がある。通常なにげなく見過ごしがちな地域の文化財を改めて見ながら、地域の歴史の跡をふり返りながら、今日の地域の環境を考える機会とした。

期 間 平成3年11月10日・24日

会 場 福生市内・熊川地区・玉川上水

参加者 13名

11月10日 コース 熊川・資料室→牛浜出水跡→玉川通船跡→眼鏡橋跡→玉川上水
→熊川分水取水口→共同墓地→熊川神社→真福寺→千住院→石川
酒造→水喰土跡→市民会館

11月24日 玉川上水を歩む

コース 市民会館前→資料館→水喰土→拝島水門→熊川分水→上水通船
荷上げ場跡→金掘公園→福生分水→関上神社→福生分水口→玉
川上水新掘跡→羽村上水の堰→羽村郷土資料館 解散

人権講座「差別のない社会を求めて」

人権尊重、それは人間の基本的な権利であるが、現実には、部落差別、障害者差別、人権差別等さまざまな差別が存在し、人権が侵されるという現実がある。12月の人権週間に対応し、改めて、身近なところでの人権の大事さを考える機会とした。

日 時 12月10日(土)

会 場 松林分館

参加者 13名

地域福祉講座＝高齢化社会を考える－豊かな老後を支える地域福祉とは

1990年所謂福祉八法の改正がおこなわれた。その重点は①財政的条件を明確にしないまま福祉の権限を大幅に自治体へ移行。②地域福祉計画の法制化、取り敢えず当面する課題である「老人福祉計画」が中心になっている。③在宅看護システム化。④住民の福祉政策への参加保障。⑤老人健康保持事業の法制化。⑥社会福祉協議会の法制化。⑦在宅福祉サービスの小地域によるサービス提供の総合化を打ち出してきた。こうした福祉政策の大きな転換のなかで、今、地方自治体の福祉政策のありようが問われている。こうしたことを踏まえて、7月から10数回にわたる準備会の中で、今年の講座の視点を次のようなものとした。①高齢化社会の到来で国民の負担が大きくなるというが、その背景を明確にする。②福祉八法が改正されたというが、その内容とその課題をつかみたい。またその影響を考えたい。③地域福祉という概念そのものが1970年代以後の言葉であるが、地域福祉の意味。④民間福祉事業を含めて高齢者をめぐる福祉サービスのあり方や実態を通して地域福祉を具体的に考えたい。という4つの視点が出されて、本講座を

実施した。

期 間 11月7日～12月12日 午後7時30分～10時 全7回

会 場 松林分館

参加者 8人×7回＝56人

プログラム

月 日	内 容	講 師
11. 7	オリエンテーション 講座の内容について	担 当 職 員
14	高齢化社会をめぐって	担 当 職 員
22	高齢化社会とは	富永 静江氏（白梅大教授）
28	国の福祉政策は－福祉八法の改正をめぐって －国の高齢化社会に向けての福祉政策は	宮島 敏氏（川崎市高齢社会 福祉総合センター主任）
12. 5	地域福祉を支える実践から学ぶ－ 立川ケアセンターやわらぎの実践を通して	相田 茂氏（立川「やす らぎ」運営委員長）
12	地域福祉とは その課題をさぐる	宮島 敏氏

総 括 7月12日から10月まで13回の準備会を開催し、高齢化社会の課題、地域福祉の課題、福生市の地域福祉政策などを資料をもとに論議をしてきた。参加者は小人数であったが、具体的でかつ熱心な論議がおこなわれた。講座の中では記録とともに、「講座だより高齢化社会」を発行した。

第10回 公民館のつどい

公民館を会場として、さまざまな地域の課題や問題を市民のレベルで市民が考え合う場として実施された。

期 間 平成3年5月22日（水）～7月15日（月）（実行委員会およびふりかえる会）

つどい実施日 平成3年7月7日（日）

会 場 公民館本館および福祉会館

参加者 307人

月 日	テ ー マ	内 容
5. 2 2	第 1 回実行委員会	趣旨説明、予算、日程と時間帯、今後の準備日程
6. 5	第 2 回 "	分科会概要決定、全体テーマ決定、保育について
2 2	第 3 回 "	参加人数の集約と会場の決定、交流会内容決定
7. 7	公民館のつどい	つどい当日
1 5	つどいをふりかえる会	

つどい当日のプログラム 7月7日(日)

	1 2 時	1 時	2 時	3 時	4 時	5 時
分 科 会	┌──────────┐					
会 場 移 動				┌──┐		
交 流 会					┌──────────┐	
あとかたづけ						┌──────────┐

分科会構成

分 科 会 名	司 会	記 録	事例発表者	助 言 者	会 場
高齢者の活動と公民館	川辺 進氏	井上トキ子氏 佐瀬ふじ江氏	立川 愛雄氏		第6・7 集会室
女のつどい パネル&トーク	中川キミ子氏 大石 時子氏	宍戸 夏子氏 梶谷 克子氏		船橋 邦子氏 (女性学研究者)	音楽室
何を食べたらいいの？ 食教育の重要性	山根トミ江氏 松山千恵子氏	伊藤美知子氏 田代久美子氏	山下 和代氏	安藤まち子氏 (栄養士)	第1・2 集会室
未来をつくるのは 私たち	佐藤 裕美氏	斎藤 時子氏		山根 雅子氏 (R-DAN)	視聴 覚室
どうしたらいいの？ 教育を語れる PTAにするには	伊藤 則子氏	大塚 京子氏	井口みさを氏 五十嵐婦美子氏	後藤重三郎氏 (国学院大講師)	福祉 会館
外国人からみた福生	平野 裕子氏	飯岡 一文氏			第4・5 集会室
障害者と共に歩む まちづくり	関 公規氏	中村けい子氏	小林由美子氏 すみれの家		第 3 集会室

総括 回を重ねるにつれて、各々のテーマに関心のある市民が新たにつどい、ひろがりを見せているようである。また今年は、交流会ではタップダンスや中学生バンドの演奏等も加わり、その段取りも交流会実行委員会を作り種々なサークルがその準備に加わった。

公民館本館利用者交流会

利用者間の交流を図るとともに、次年度予算編成期をひかえ、利用者の要望を聞く機会として実施した。

日時 平成3年9月18日(水) 午後7時半～9時半

会場 公民館本館

参加者 6人

公民館本館利用者研修会

利用者間の交流を図るとともに、公民館でのサークル活動について考える機会として実施した。

日時 平成4年3月18日(水) 午後7時半～9時半

会場 公民館本館

テーマ 「サークル活動の広がりを求めて」

講師 重本 弘子氏(元東村山市公運審委員)

参加者 15人

公民館本館調理室利用者連絡会

調理室利用サークルの連絡調整、情報交換の場として実施した。

会場 公民館本館

参加者 10人×4回＝40人

月 日	内 容
8. 2	調理室の清掃、サークルの活動日調整、備品
9. 5	調理室の清掃、サークルの活動日調整
11. 27	調理室の清掃、部屋の受付方法
1. 30	調理室の清掃、部屋の受付方法

総括 年4回実施してきたことにより、連絡会として定着し、サークル間の交流も図られたようだが、参加するサークルが決まっているため、調理室を利用する他のサークルにも幅広く呼びかけていきたい。

講師派遣事業

この制度は、公民館を利用する社会教育関係団体の活動を援助するため、公民館が予算の範囲内で講師を委嘱し派遣するものである。この制度を受ける事業はすべて公募とし、一般市民が自由に参加できるものとされている。

月 日	内 容	講 師	参 加 者 数
3. 6. 30	福生市音楽愛好者連絡会	小嶺 裕子氏	500人
30	コーラス虹	南原 玲子氏	500人
9. 30	婦人のひろば	吉野 チェ氏	25人
4. 2. 20	ありんこ	土生 奈巳氏	13人
3. 23	福生アマチュアマジッククラブ	小林 文美氏	10人
28	カラフルに教育のこと話しましょう	斉藤 次郎氏	25人

初心者囲碁教室

利用者交流会で、女性対象の囲碁講座が多いが男性でも囲碁を知らない人が多いので、男性を対象とした囲碁講座を行ってほしいとの希望があり、開催した。

期 間 平成3年6月5日（水）～平成3年8月7日（水）

午後6時30分～8時30分 全10回

会 場 松林分館

参加者 17人×10回＝170人

講 師 藤井 廣氏（日本棋院普及指導員）

月 日	内 容
6. 5	講義 「碁とはなにか」 実 戦
1 2	講義 「碁のルール」 "
1 9	講義 「石の連絡と切断」 "
2 6	講義 「石の取り方」 "
7. 3	講義 「石の生死」 "
1 0	講義 「テクニク」 "
1 7	講義 「盤上の名称」 "
2 4	講義 「石の能率」 "
3 1	講義 「石と石との戦い」 "
8. 7	講義 「終わりの打ち方」 "

総 括 女性のための囲碁講座と同様、前半の1時間は講義で、後半の1時間は実戦を行った。
この講座は参加者の年齢差が大きく、また、開講したところ、碁をかなり知っている人もいたが、その人たちに感想を聞いたところ、改めて碁の講義を受け、碁の基本的な考え方がよくわかったと喜んでいた。

だれでもなんでも展

開 催 日 10月26日(土)・10月27日(日)

プログラム

10月26日(土) 午後1時～5時

展示 絵画、陶芸、彫刻、書道、七宝、文章、サークル紹介

演示 映画「二十四の瞳」

喫茶コーナー コーヒー、ジュース

10月27日(日) 午前10時～午後4時30分

展示 絵画、陶芸、彫刻、書道、七宝、文章、サークル紹介

演示 ○人形劇「さるかに合戦」「おだんごパン」(パテット)

○コーラス (コーラス虹)(コールコスモス)

○剣詩舞演示 (剣詩舞同好会)

○新 舞 踊 (白梅会)

○コンサート（伊東 律子氏）

○マジック（アマチュアマジッククラブ）

喫茶コーナー 模擬店コーナー、囲碁コーナー

展示作品 540点（一般 227点、サークル313点）

出品者、団体数 一般 42人 団体 15サークル

参加団体 24サークル

延入場者数 1,491人

だれでもなんでも展実行委員会

地域に開かれた文化祭をめざし、1）地域の中でこつこつと作品を作っていたり、日常生活の中で行われている文化的営みを掘りおこし、そうした活動をしている人々を地域でつなげていく。2）そういう人をつなげる役割を分館利用者が担っていく。3）松林でのサークル活動の発展の場として、サークル活動を地域に広げていく。という三つの柱のもとに、利用者交流会が中心になり、実行委員会を結成、準備、実施にあたった。

実行委員会日程

6月29日 第1回実行委員会（正副実行委員長決定、実施日決定）

7月13日 第2回実行委員会（テーマ決定）

8月 3日 第3回実行委員会（よびかけ文決定、ポスター原案決定）

9月 7日 第4回実行委員会（ポスター、チラシ配布、サークル紹介用紙配布）

9月14日 第5回実行委員会（演示の順番、時間等を決めた）

9月21日 第6回実行委員会（展示場所を決めた。材料、消耗品等の確認）

10月 5日 第7回実行委員会（テント、机の確認、演示の再確認等）

10月19日 第8回実行委員会（細部の確認）

11月 9日 反省会

参加者 延べ119人

今年のテーマ あなたのテーマパークなんでも展

もえろもやせ手づくりパワー

松林ひだまりハイキング「多摩（青梅）七福神めぐり」

新春に青梅市内にある多摩七福神めぐりをを行った。

期 日 平成4年1月6日（日）

参加者 33人

指導員 長屋 寿子氏

コース 福生駅——電 車——東青梅駅 …………… 玉泉寺 …………… 宗建寺

…………… 延命寺 …………… 清宝院 …………… 地藏院 …………… 明白院

昼 食 …………… 聞修院 …………… 東青梅駅——福生駅

総 括 今年は大勢の参加を得たため、不慮の事態にそなえ、護衛の車を用意し、先頭と後部、車の三ヶ所を無線で連絡しながらのハイキングだった。途中、雨に降られ、高齢の方で車に乗る人もいたが、無事に終わった。

松林ホームシアター

主に子供たちの情操を豊かにする内容の映画を上映した。

期 日 平成3年4月27日（土）～平成4年3月15日（日）

会 場 松林分館

月 日	上 映 作 品	上映時間など	入 場 者
4. 27	アラジンとふしぎなランプ	午後3時～ 1回	38人
5. 25	走れメロス、やさしい怪獣	午後2時～ 1回	42人
6. 30	ピッピ船にのる	午前10時～1回	29人
7. 28	ピコリーノの冒険 ①～③	午後2時～ 1回	20人
10. 6	ムーミン（おちてきた星の子） いたずらあまんじゃく	午前10時～1回	31人
26	二十四の瞳	午後1時～ 2回 午後3時～	95人
12. 15	クリスマスキャロル	午前10時～ 2回 午後2時～	31人
1. 26	故きょうの空	午前10時～ 2回 午後2時～	5人
2. 9	風の谷のナウシカ	午前10時～1回	33人
3. 15	路傍の石	午後3時～ 1回	10人

シネマフェスティバル For Peace

恒久平和のために、子供や一般向けの反戦映画を上映した。

期 日 平成3年8月11日(日)

上 映 時 間	上 映 作 品	入 場 者
午前10時30分 ～11時45分	せんすいかんに恋をしたクジラの話 トビウオのぼうやはびょうきです 草原の少女ローラ	20人
午後1時30分 ～4時30分	せんすいかんに恋をしたクジラの話 トビウオのぼうやはびょうきです 草原の少女ローラ はだしのゲン (パート1)	16人

松林分館利用者交流会

松林分館利用者の交流をはかり、館と利用者、利用者と利用者の交流が豊かに行なえる様に実施した。

第1回

日 時 平成3年4月11日(木) 午前10時～12時

場 所 松林分館等

内 容
 ○サークルの情報交換
 ○松林分館の事業について
 ○公民館運営審議会の報告

参加者 6人

第2回

日 時 平成3年6月8日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容
 ○サークルの情報交換
 ○公民館運営審議会の報告
 ○だれでもなんでも展について

○松林分館のトイレの改修工事、外壁工事等について

参加者 9人

第3回

日 時 平成3年6月29日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 ○サークルの情報交換
○公民館運営審議会の報告
○だれでもなんでも展について

参加者 11人

第4回

日 時 平成3年7月13日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 ○公民館運営審議会の報告
○だれでもなんでも展について

参加者 16人

第5回

日 時 平成3年8月3日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 ○サークルの情報交換
○だれでもなんでも展について

参加者 11人

第6回

日 時 平成3年9月7日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 ○サークルの情報交換
○公民館運営審議会の報告
○だれでもなんでも展について

参加者 19人

第7回

日 時 平成3年10月4日(金) 午前9時～午後5時

場 所 山梨県牧丘町

内 容 ◦きのこ狩り

参加者 11人

第8回

日 時 平成3年11月9日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 ◦公民館運営審議会の報告

◦平成4年度の予算請求について

◦だれでもなんでも展の反省について

参加者 12人

第9回

日 時 平成4年3月14日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 ◦サークルの情報交換

◦公民館運営審議会の報告

参加者 13人

松林分館利用者交流会学習会

公民館とはどういうものか、公民館のあり方を学習するために行った。

日 時 平成4年3月28日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 講演 「公民館を100倍たのしむ方法＝公民館の公共性を考える＝」

講師 重本 弘子氏 (元東村山市民公民館公運審委員、等)

参加者 10人

第10回利用者発表会

5月18日(土) 入場者数 276人

◦展示のひろば 午前10時～午後5時まで

パッチワーク・籐細工・生け花・陶芸・ちぎり絵・子ども

絵画・レザークラフト・れんげ園作品展示

○お茶席 午後1時～4時

○親と子の広場 午後2時～4時

5月19日(日) 入場者数 295人

○展示のひろば 前日と同じ

○語らい茶屋 午前10時～正午

○演示のひろば 民謡・民謡・詩吟・三味線・コーラス・社交ダンスなど

○フィナーレの広場 参加者のみんなでゲーム・みんなで合唱を・ドラえも
んの歌を手話で挑戦、その場でできる社交ダンス等

第11回利用者発表会実行委員会

毎年恒例の利用者発表会を、今年は以下の日程で準備をおこなった。

月 日	内 容	備 考
3. 30	第11回利用者発表会の中身の検討について	参加者20人

白梅親子映画会

身近な所で優れた映像作品を観賞する機会を提供する目的で開いている。特に、毎回自然科学系の作品を上映し、身近な自然の仕組みや働きなどに関心を持てるよう考えて実施した。

期 間 平成3年5月25日～平成4年3月28日 全10回

会 場 白梅会館

参加者 延べ参加者 278人

月 日	上 映 作 品	観 客 数
5. 25	ぼくらの森の動物園、かたちのたんけん、生物のつながり	21人
6. 29	花のはなし、不思議なメルモ、ピュア島の仲間達	25
7. 13	長くつしたのピッピ	35
9. 7	リボンの騎士	35
10. 19	ピッピの宝島	30
11. 29	ジャングル大帝	10

月 日	上 映 作 品	観 客 数
1 2. 1 4	ドナルドダックの消防夫、吉四六ドン、生きているって素晴らしい	2 0 人
1. 2 5	アルプスの少女ハイジ	4 2
2. 8	風の谷のナウシカ	3 5
3. 2 8	木を植えた男、べっかんこ鬼、むし歯城をやっつけろ、ほしがり姫の冒険	2 5

総 括 昨年度に比べ回数を増やし、内容も各種のものを上映してみた。自然関係のフィルムは上映しただけではなく、本などを資料として話をしたが、関心は示してもフィルムだけで理解するのは難しい。来年からは観覧会などと運動して上映する方法を考えたい。

白梅会館利用者交流会

白梅分館を利用している各種のサークル間の交流を深め、また、白梅分館利用上の問題点等を話し合う機会として開いている。

期 間	平成 3 年 8 月 2 1 日 全 1 回
会 場	白梅分館
参加者	3 0 人

内 容 利用上の問題点で、特に夜間の駐車の問題・騒音の問題などの他、物品の破損の状況などが話し合われた。また、予算を伴う備品などの要求も話し合われた。

今年は回数が少なかったため、来年は定期的に回数を増やしていきたい。

利用者研修会

白梅分館を利用する方々を対象に、「公民館とは何か？」という基本的な問題を話題に、研修の機会としている。特に今年は「私達は大人らしく学んでいるか」というテーマで、大人の学習にスポットをあてて、講師から話題を提供してもらった。

日 時 平成 4 年 2 月 1 0 日 全 1 回

会 場 白梅分館

参加人 2 5 人

月 日	テ ー マ	講 師
2. 1 0	私達は大人らしく学んでいるか	島 田 修 一 氏

陶芸サークル連絡会

陶芸用の作業室や窯の利用などについて、各利用サークル間で意志の統一がされていなかった
ので、作業室の整理整頓をはじめ、窯の利用についての意見交換をおこなった。

日 時 平成3年12月11日 全1回

会 場 白梅分館

参加者 8人

ほのぼの人形劇

身近なところで優れた演劇を観賞する機会として、隔年で実施している。

日 時 平成4年3月26日 全1回

会 場 白梅分館

出演者 人形劇団ビバポ

観客数 95人

月 日	内 容
3. 26	猫はどうやって泣くのを覚えたか、不思議なじゅうたん他

白梅分館10周年記念陶壁作成

白梅分館開館10周年を記念して、利用者の参加によつての陶壁作りを行った。図案は、榎本
隆氏によるもので、素焼き・本焼・張り付けと、利用者の参加で行うものとした。

期 間 平成4年3月7日～3月29日 全2回

会 場 白梅分館

(7) 高齢者

「寿市民ひろば」

人生80年時代を迎え、①“高齢期を社会の一員として(担い手)として元気に生きるまち福生”を目指し、②高齢期の生活づくり・社会参加にむけて活動する市民グループを軸に、地区福寿会やシルバー人材センター会員はじめ多数の高齢者市民の学習文化活動への参加の機会とし、③市行政の教育・福祉部門の連携により以下のように実施した。

“寿”講演会

期 間 平成3年9月14日(土)～10月19日 全3回

会 場 公民館 第4・5集会室

参加者 40人+70人+45人=155人

回	日 時	内 容	備 考
1	9月14日(土) 午後2時～4時	演題 生物としての人間と高齢期	宮 岡 一 雄 氏 (明治大学教授)
2	10月 6日(日) 午前10時～正午	演題 高齢期の心とからだの健康	白 鳥 金 丸 氏 (早稲田大学教授)
3	10月19日(土) 午後2時～4時	話題 戦後ふっさっ子のうつり変わり	山 崎 茂 男 氏 (福生珠算学校長)

「寿ひろば」公民館本館

公民館における日常的な高齢者活動の場として、私達の人生の歩み、生活・まちの話題、健康づくりや探訪ふっさ西多摩、他各種親睦等、総合活動を通して高齢期の生活づくり仲間づくりにむけ以下のように実施した。

期 間 平成3年9月7日(土)～12月14日 全10回

午前10時～正午

会 場 公民館本館 ほか 野外

参加者 25人×10回=250人

回	月 日	内 容	備 考
1	9. 7(土)	オリエンテーション 自己紹介	話 し 合 い
2	2 1 "	私達の人生の歩み そのⅠ	"
3	1 0. 5 "	" そのⅡ	"
4	1 2 "	" そのⅢ	"
5	2 6 "	清厳院 柳山公園 中央公園	ふっさ見て歩き
6	1 1. 9 "	高齢期の生活と税について	持田 力氏(税理士)
7	1 6 "	金剛寺 天寧寺 高麗神社 宮沢湖	バスツアー西多摩近隣再発見
8	2 3 "	我がまちよもやま話し	話 し 合 い
9	1 2. 7 "	在宅福祉と施設福祉の現状と今後	福祉事務所職員
10	1 4 "	寿ひろば忘年会	懇親(睦会館)

終了後は月3回(1回は歌おう会)で自主活動を実施するはこびとなった。

さつきひろば

“高齢期を楽しく元気に生きるまち福生”を目指した講座『寿市民ひろば』の一環として、松林分館では『さつきひろば』の名称で行った。

期 間 平成3年9月12日(木)～11月28日(木) 午前10時～12時 全10回

会 場 松林分館等

参加者 13人×10回=130人

月 日	内 容	講 師
9. 1 2	オリエンテーション	
1 9	玉川上水ぞいの散策	立 川 愛 雄 氏
2 6	福生の歴史を聞く	高 崎 勇 作 氏
1 0. 3	"	立 川 愛 雄 氏
1 7	人生語り合い	"
3 1	バスハイク(青梅、金剛寺等)	"
1 1. 7	高齢者の健康管理	福生保健所・保健婦
1 4	"	"
2 1	人生語り合い	立 川 愛 雄 氏
2 8	反 省 会	"

総括 松林分館は今年はじめて『寿市民ひろば』に参加したので、13人の参加にとどまったが、その後サークルとなり、21名で活動している。今後、毎年続けて少しずつ参加者を増していきたい。講座の内容については、講師に、毎回趣きのある話をしていただき、参加者は充実した時間を過ごせたと思う。

講座「自分史を書く」

自分の人生をふりかえり、その断片を書きあうことを通して、高齢者が地域で書き合う関係をつくることを目的に実施した。

期 間 平成3年9月12日（木）～12月5日（木） 午前10時～12時

全10回

会 場 公民館本館

参加者 27人×10回＝270人

月 日	テ ー マ ・ 内 容	講 師
9. 12	オリエンテーション・自分史とは	武田 秀夫氏 (私塾主宰)
19	文 章 づ く り	
26	〃	
10. 3	〃	
17	〃	
31	自分史を綴る	
11. 14	〃	
21	〃	
28	〃	
12. 5	まとめ、文章づくりへ向けて	

総括 自分の歴史を年代ごとに書き綴るのではなく、どのようなことでも、書けるところから書き始めていった。戦争体験をもつ人たちにとっては、自分自身をどのように見つめ直し、文章に表現するのか苦労があったようだ。それらを学習のなかにとり入れていく必要性を感じた。

また、自ら自分の人生をとらえなおしていく高齢者の力を感じることができた。自分の人生を書き続け、読み合うという行程のなかで、自分の人生を問い直していく。その

関係は、講座終了後も自主サークル「もくせい」として継続している。

60歳からの生き方

60歳の定年を境に職場人間から地域での人生が始まり、その第二の人生を充実したものとするための準備の機会として実施した。

期 間 平成3年9月9日（月）～11月18日（月） 午後7時半～9時

会 場 公民館本館

参加者 10人×10回＝100人

月 日	内 容	講 師
9. 9	オリエンテーション	
23	「これまで」から「これから」へ	橋本 孝蔵氏
30	家族とどう生きるか	川辺 進氏
10. 7	年金の上手なもらい方	松下 俊政氏
14	高齢期の心とからだの健康	吉野 チエ氏
21	生きがい（趣味）	川辺 進氏
28	生きがい（社会的）	〃
11. 4	自分らしく生きる	
11	60歳からの生き方	
18	ま と め	

総 括 ちょうど60歳をむかえる人が4人であり、その他の人はあらためて自分の生き方を確めるための参加であったようだ。講師の話や参加者同士の話し合いの中で、第二の人生の生き方のヒントをつかんでいってもらえたようである。最終回に簡単な文集を作成した。

「人生うたい語りの集い」

高齢者事業『寿市民ひろば』のフィナーレを飾り、実施各コースの参加者の出演で“意見発表の機会”“人生を綴る歌のメドレー”等を発表。またより多くの市民の方々にその成果を見て載くことや事業まよめの催しとして以下のように実施した。

月 日 曜	内 容	会場 参加者
11. 30 土 午後1時30分～4時	人生を綴る唄メドレー15曲、人生私の意見10人 アトラクション 演歌（橋本まさる作詞）と舞い	小ホール 180人

「寿市民ひろば」実行委員会

“寿市民ひろば”事業活動の企画・実施にむけ、高齢者市民の参加及び教育・福祉職員の合同で実行委員会を開催した。

期 間 平成3年6月27日（木）～11月27日（水） 全5回 午前10時～正午

会 場 公民館本館

参加者 36人×5回＝180人

回	月 日 曜	内 容	備 考
1	6. 27 木	第1回実行委員会 当事業の実施計画案、企画づくり	市民グループ 公 民 館 社会教育職員 福祉部職員 シルバー職員 社 協 職 員 以上 実行委員会構成
2	7. 18 "	第2回実行委員会 各コースプロ集約、全体スケジュール	
3	8. 22 "	第3回実行委員会 広報・PR、つどい企画、役割分担	
4	9. 19 "	第4回実行委員会 各コース開始状況、情報交換 ほか	
5	11. 27 水	第5回実行委員会 終回役割分担、全体の流れ、終了後	

ワープロ教室Ⅰ

なかなか接する機会のなかったワープロに挑戦し、その基礎を学ぶ。

期 間 平成3年10月3日（木）～7日（月） 午後2時～4時 全5回

会 場 公民館本館

参加者	10人×5回=50人
内 容	ハンディタイプのワードプロセッサの基本操作と簡単な文章作成
講 師	築地 尚美氏(システム情報館)

高齢者ワープロ教室Ⅱ

期 間 平成3年12月4日(水)～9日(月) 午後2時～4時 全5回
 会 場 公民館本館
 参加者 5人×5回=25人

高齢者ワープロ教室Ⅲ

期 間 平成4年1月22日(水)～27日(月) 午後2時～4時 全5回
 会 場 公民館本館

参加者 5人×5回=25人

総 括 今回は講師の他に担当者など職員ができる範囲でアドバイスができるよう努めて来た。しかし、個々の理解度は個人差があり、フォローが難しい。

白梅熟年ひろば

参加者各自の生活経験をもとに、社会変化を見つめ、絶えず自己を養い生きがいとなるものを見つけ出す機会として、次のとおり実施した。

期 間 平成3年9月13日(金)～11月22日
 会 場 白梅会館
 参加者 全10回=275人

回	月 日	内 容	備 考
1	9. 13	自己紹介、オリエンテーション	立 川 愛 雄 氏
2	20	福生の民俗、文化財	"
3	27	福生の歴史(玉川上水の歴史)	高 崎 勇 作 氏
4	10. 4	福生の民俗、文化財	立 川 愛 雄 氏

回	月 日	内 容	備 考
5	10. 18	食事と病気について	福生保健所職員 吉沢 満里子氏 原 小百合氏
6	3 1	野 外 活 動	立 川 愛 雄 氏
7	11. 1	戦前戦後を振り返って	"
8	8	「ふっさ子」の特色	山 崎 茂 男 氏
9	1 5	街の話題等について情報交換	立 川 愛 雄 氏
10	2 2	"	"

人生を唄おう会

歌を唄うことによって、自己の活力に伸長や、やりがいを持続させられればと、次のとおり実施した。

期 間 平成3年8月24日（土）～11月30日（土）

会 場 白梅会館

参加者 全10回＝320人

回	月 日	内 容	備 考
1	8. 24	自己紹介、オリエンテーション、選曲	指導ピアノ、山下やよい氏
2	3 1	発声練習	"
3	9. 14	懐かしい曲	"
4	2 8	思いでの歌	"
5	10. 12	文化祭「音楽のひろば」選曲、練習	"
6	2 6	「人生唄い語りの集い」選曲、練習	"
7	11. 4	市民文化祭「音楽のひろば」出演	"
8	1 6	「人生唄い語りの集い」練習	"
9	2 9	最終練習	"
10	3 0	「人生唄い語りの集い」出演	"

白梅七宝教室

参加者自らの時間、自らの人生、そして趣味を持つ機会として、また仲間づくりなどを考える機会として、次のとおり実施した。

期 間 平成3年11月6日(水)～平成4年3月18日(水)

会 場 白梅会館

参加者 全10回＝223人

回	月 日	内 容	備 考
1	11. 16	オリエンテーション、自己紹介、七宝焼きとは	
2	20	ペンダントを一色盛で	
3	12. 4	ブローチを一色盛で	
4	18	多色模様の七宝	
5	1. 15	〃	4年3月30日に変更
6	29	描き割り七宝	
7	2. 5	〃	
8	19	フリット七宝	
9	3. 4	〃	
10	18	終 了 式	大雪のため4年4月15日に変更

6. 市民会館主催事業

(1) 催 し 物

公 演 名	実 施 日	会 場	入 場 料 金	入 場 者 数	出 演 者
ファミリーミュージカル 「裸の王様」	平成3年 7月20日(土)	大ホール	指定 3,500円	450人	プリンスストリ ートプレイヤーズ
福 生 寄 席 「小朝VS三木助二人会」	平成3年 10月 9日(水)	大ホール	指定 2,000円	670人	春 風 亭 小 朝 桂 三 木 助
杉山清貴コンサート	平成3年 11月23日(土)	大ホール	指定 4,120円	855人	杉 山 清 貴
神谷郁代ピアノリサイタル	平成3年 12月 6日(金)	大ホール	指定 1,500円	485人	神 谷 郁 代
高 橋 竹 山 演 奏 会	平成4年 1月25日(土)	大ホール	指定 2,500円	600人	高 橋 竹 山 高 橋 竹 与

(2) 市民名画劇場

上 映 作 品	上 映 日	上映回数及び入場者
ポリスアカデミー4	5月25日	午後・夜間 2回 68人
バック・トゥ・ザ・フューチャー2	7月20日	" 244人
グレムリン2	8月24日	" 256人
ベイビートーク	9月14日	" 148人
イージーライダー	10月19日	" 128人
男はつらいよ・ぼくの伯父さん	11月 9日	" 116人
愛 情 物 語	12月14日	" 108人
ビルマの豎琴	1月18日	" 149人
釣りバカ日誌2	3月14日	" 131人

いずれも市民会館小ホール